

令和3年度 第1回 学校運営協議会



板 野 町 板 野 中 学 校

〒 779-0105 板野郡板野町大寺字郡頭 11 番地
TEL 088-672-0079
FAX 088-672-0164

第1回学校運営協議会

- 1 日 時 令和3年6月29日(火) 17:00～17:40
- 2 場 所 板野町中央公民館 会議室
- 3 内 容
- (1) 板野町教育委員会教育長あいさつ
 - (2) 委員自己紹介
 - (3) コミュニティスクール制度の説明
 - (4) 学校運営基本方針
 - (5) 令和3年度の学校運営について
 - ①新型コロナウイルス対策
 - ②今年度指定研究等
 - ・キャリアパスポート・スタートアップ事業
 - ・「学びの架け橋」事業
 - ・大学連携強化！学校力向上拠点校事業
 - (6) 令和2年度学校評価アンケート（結果）について
 - (7) 年間計画
 - (8) 質疑

令和3年度 板野町板野中学校 学校運営協議会 委員

	氏名	よみがな	役職
	石井 公生	いしい きみお	板野町教育委員会教育長

	氏名	よみがな	役職
1	三並 敏之	みなみ としゆき	板野高等学校長
2	佐野 明美	さの あけみ	板野町読書ボランティアクラブ
3	野田 晶子	のだ あきこ	板野町まちづくり女性の会
4	坂東 安恵	ばんどう やすえ	板野町まちづくり女性の会
5	吉田 美恵子	よしだ みえこ	板野中学校部活動指導員
6	大川 由美子	おおかわ ゆみこ	板野中学校PTA会長
7	山田 匠	やまだ たくみ	板野中学校長
8	三木 健司	みき けんじ	板野中学校教頭
9	松本 賢一	まつもと けんいち	板野中学校教頭

会議室

石井教育長 山田匠校長

○ ○

入り口

三並敏之 ○

佐野明美 ○

野田晶子 ○

坂東安恵 ○

○ 三木健司

○ 松本賢一

○ 大川由美子

○ 吉田美恵子

コミュニティ・スクール 2018

～地域とともにある学校づくりを目指して～



コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について

「地域とともにある学校づくり」を目指して

連携・協働

子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、**学校と地域の連携・協働**の重要性が指摘されています。

社会総掛かり

子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、**社会総掛かりでの教育の表現**が不可欠です。

共有

輝く子供たちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子供たちを育てるのか」、「何を表現していくのか」という**目標やビジョンを共有**することが重要です。

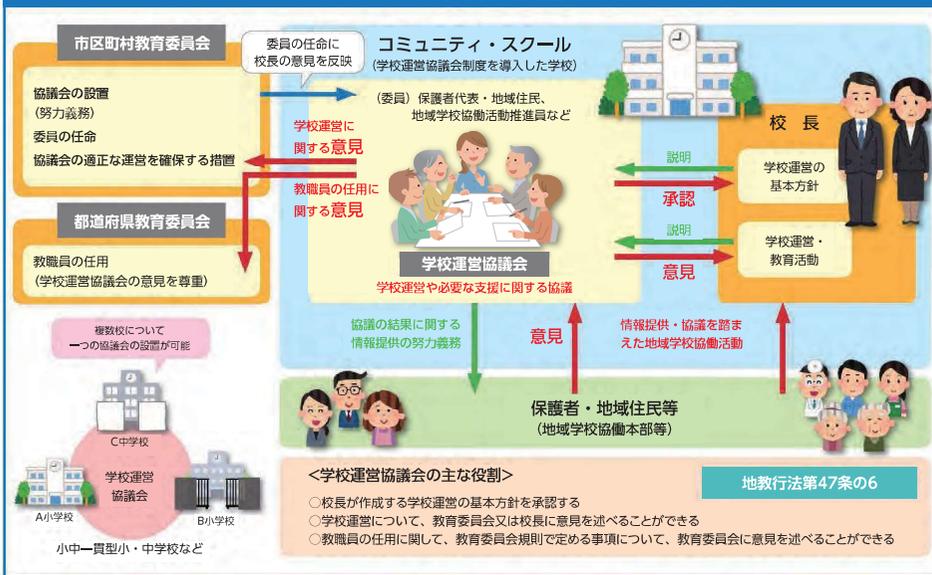
地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校づくり**」への**転換**を図るための有効な仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

→ **コミュニティ・スクール = 学校運営協議会** を導入した学校

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



▶▶コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）に関する法改正（平成29年4月施行）

（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6）

- 学校運営協議会の設置が教育委員会の努力義務に
- 学校運営への必要な支援についても協議すること
- 学校運営協議会の委員に、学校運営に資する活動を行う者（地域学校協働活動推進員等）を追加
- 教職員の任用に関する意見の範囲について、教育委員会規則で定めることが可能に
- 複数校で一つの学校運営協議会を設置することが可能に
- 協議結果に関する情報を地域住民に積極的に提供することが努力義務に

コミュニティ・スクールの主な3つの機能

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6】

▶▶校長が作成する学校運営の基本方針を承認する

学校運営協議会は、校長の作成する「学校運営の基本方針の承認」を通じて、**育てたい子供像や目指す学校像等に関する学校運営のビジョンを共有**します。保護者や地域住民等の意向を当該方針に反映させることで、地域住民等が校長とともに学校運営に責任を負っているという自覚と意識が高まるとともに、学校運営の最終責任者である校長を支え、学校を応援することができます。

ビジョンを共有するにあたっては、一方が伺いをたて、一方がそれを了承するという関係ではなく、**学校と協議会が対等な立場に立ち、お互いに当事者意識を持って、目指すところを共有し、協働へとつなげていく**ことが重要です。

校長は、承認された学校運営の基本方針に沿い、その権限と責任において教育課程の編成等の具体的な学校運営を行うこととなります。



▶▶学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる

学校運営協議会は、**広く地域住民等の意見を反映させる**観点から、校長が作成する基本方針の承認にとどまらず、当該学校の運営全般について、教育委員会又は校長に対して主体的に意見を申し出ることができます。委員からは、子供たちの教育や学校運営の当事者としての意見が得られ、学校だけでは気づくことができなかった学校の魅力や課題を共有することができます。

学校運営協議会が教育委員会や校長に対して意見を述べるときは、**個人の意見**がそのまま尊重されるのではなく、保護者や地域住民等の代表による**合議体としての意見を述べる**こととなります。



▶▶教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

学校運営協議会は、**学校の課題解決や教育活動の充実のために校内体制の整備充実を図る**観点から、教職員の採用その他の任用に関する事項について、直接、任命権者に対して意見を述べることができます。学校運営の基本方針を踏まえ、学校と学校運営協議会が**実現しようとする教育目標等に合った教職員の配置を求め**るための重要な機能です。

任命権者（都道府県・政令市）は域内の実情を踏まえつつ、学校運営協議会からの意見を尊重するよう努めることが求められますが、任命権者の任命権の行使そのものを拘束するものではありません。

また、校長の意見具申権のものに変更が生じるものではありません。（→ P7:Q&A）



全国で授業補助、環境整備、登下校の見守り、放課後子供教室、中高生等への学習支援等の地域学校協働活動が推進され、地域と学校の連携・協力体制が構築されてきており、保護者や地域住民等、多くの関係者が学校の取組や子供たちに直接関わる機会が増えました。だからこそ重要になるのが、**学校・家庭・地域で情報及び課題・目標・ビジョンの共有を確実に行うこと**です。これらの共有が十分でない、一方が他方に「お願い」をし、それに対して「支援をする」という、貸し借りのような関係になってしまうことがあります。

そこで、地域とともにある学校の運営においては、学校運営協議会で行う協議に加え、**熟議・協働・マネジメント**の3つの視点をもって、左下図のような共有の好循環を作ることが重要です。



① 熟議

熟議とは、**多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話**のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。

【具体的なプロセス】

- (1) **多くの当事者（保護者、教職員、地域住民等）**が集まって、
- (2) 課題やビジョンについて「熟慮」し、「議論」することにより、
- (3) 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
- (4) それぞれの役割に応じた解決策や方策が洗練され、
- (5) それぞれが納得して**自分の役割を果たすようになる**。

<ポイント>

学校や子供たちの課題等を学校だけで抱え込んでしまうのではなく、**保護者や地域住民等、多様な関係者と**ともに「**1つのテーブルにつくこと**」です。そこで新しいアイデアや考え方が生まれ、今後の方針を決めていくたくさんのヒントが得られます。

【熟議：例】

A小では「子供たちに家庭学習の習慣が定着していない」という課題が。そこで・・・

<熟議のテーマ>

子供たちが**自ら机に向かう習慣を身につける**ために学校・家庭・地域ができることは？

(地域住民) 保護者同士で「熟議」をさせてみては？

(教師) 暗学習で算数のドリルをやらせてみたらいいのでは？

(保護者) もっと魅力ある授業を展開してほしい！

そんなアイデア、考え方があったんですね！

(地域住民) 子供の自主性を言う前に、まず、大人が学習する機会を設けるべきではないか？

→「**すぐにできる取組**」から協働活動へつなげていきます。

② 協働

協働とは、**同じ目的・目標に向かって、対等の立場で協力して共に働くこと**です。

保護者や地域住民等が**計画段階から参画**し、現状や課題、目標・ビジョンの共有ができたうえで、目標に向けた取組を進めてはじめて「協働」といえます。現状や課題、目標・ビジョンについて、多様な関係者が当事者意識をもって協議し、共有する場が学校運営協議会や熟議です。

学校運営協議会や熟議で**共有された目的・目標に向かって取組を進め（協働）**、協働により得られた成功体験を更に学校運営協議会や関係者間で共有するために、協議会が主体となって学校評価を行います。



学校運営協議会の機能を生かし、**一体的に「計画→実行→評価→改善」のPDCAサイクルを回すこと**で、より効果的な地域学校協働活動や課題解決に向けた取組が可能となります。そして、学校運営全体の充実・改善につなげることができます。



③ マネジメント

【学校教育法 第三十七条】校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

校長は、学校の最終意思決定者として、学校内はもちろんのこと、地域や社会の動きを敏感に察知して、それに対応した組織改革を推進する責任と権限が付与されています。そのため、コミュニティ・スクールの運営の充実にあたっては、**校長の強いリーダーシップ**が求められます。

(1) 学校内の組織体制と協働文化の構築

- 学校と地域の協働による取組を効果的に進めるための、教職員の役割分担と校内体制づくり、学校内の企画・調整機能、事務体制の強化
- 教職員と地域住民を効果的につなぐ交流機会の創出等を通じた、学校に関わる全ての関係者がチームの一員であるという意識の共有

(2) 学校の教育力を向上させるための工夫

- カリキュラムマネジメント
 - ・学校運営協議会委員の授業研究への参加
 - ・委員による授業評価
 - ・委員による意見や評価を反映したカリキュラム編成
- 地域との協働による取組を通じた教職員の資質・能力の向上
- 学校運営協議会から家庭や地域に向けた情報発信

(3) 学校関係者が持つ専門性やネットワークを生かした学校運営

- 様々な関係者の意見を踏まえた学校の課題・目標・ビジョンの設定と共有
- 地域との関係を構築し、多様な専門性を有機的に結び付け、学校が抱える課題の解決や目標達成に向けた協働を促進

【地教行法第47条の6 第3項】校長は、委員の任命に関する意見を教育委員会に申し出ることができる。



コミュニティ・スクールを導入することで・・・(導入後の効果)

▶▶ 保護者・地域住民等も子供たちの教育の当事者となり、責任感を持って積極的に子供への教育に携わることができるようになります。

- お互いに顔がわかる関係になり、地域住民等が子供たちに積極的に声をかけたり、直接助言したりする場面が増加します。
- 学校が保護者や地域住民等と一緒に課題等に対する対応策を考え、実行に移すことができます。
- 小中一貫教育等の新しい教育方法との組み合わせにより、地域ぐるみで効果的に子供を育む体制が構築されます。



▶▶ 保護者や地域住民等にとって学校運営や教育活動への参画は、自己有用感や生きがいにつながります。さらに、子供たちの学びや体験が充実します。

- 多くの大人の専門性や地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現し、子供たちに多様な経験を積ませることができます。
- 学校が社会的なつながりを得られる場となり、地域のよどころとなります。
- 地域の特性を生かした学びを目標を共有した上で実施することにより、学校での学びがより豊かで広がりを持ちます。



▶▶ 保護者や地域住民等と学校が顔が見える関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現します。

- 学校の現状や運営方針について理解が深まり、地域住民等が学校の応援団となります。
- 学校・家庭・地域の「適切な役割分担」により、教職員が子供と向き合う時間の確保につながります。



▶▶ 地域の課題解決に向けた取組や大規模災害時の緊急対応等に、学校と地域が一体となって取り組むことができます。



コミュニティ・スクールに関するQ&A

Q. 本校では、すでに学校支援活動や学校評議員として地域住民等に入っていたり、地域連携がうまく行われているが、学校運営協議会は必要か？

A. 今日学校を取り巻く課題に適切に対応するためには、地域住民等との連携・協働体制を構築し、その協力を得ることが不可欠です。

地域住民等の協力により実施される学校支援活動を地域学校協働活動として効果的に実施するには、活動を担う地域住民等も、協議や熟議等の実施により、ビジョンや目標の共有を行うことを通じて校長が作成した学校運営の基本方針はもとより、学校の現状や課題等を的確に把握しておく必要があります。

保護者や地域住民等から意見をもらう仕組みとして「学校関係者評価」や「学校評議員制度」がありますが、それらの意見は「合議体」としての意見ではありません。また、述べられた意見を学校運営の基本方針に採り入れるかどうかは、制度上校長次第であり、地域住民等が学校運営に権限を持って参画することが明確に認められているものではありません。

学校運営協議会は合議体であり、校長が作成する学校運営の基本方針の承認を通じ、学校運営の根幹となる「教育課程」や「学力向上」、「いじめや不登校などの生徒指導上の課題」、「部活動」、「共生社会の実現に向けた方針の決定」などについても学校と地域が「対等な立場」で協議するという重要な役割があります。学校運営協議会制度の導入により、地域住民等が当事者として学校運営に参画することを通じて、学校と地域の連携・協働体制が組織的・継続的に確立され、「地域とともにある学校づくり」や「課題解決に向けた取組」を効果的に進めることができます。

地域とともにある学校

学校運営の基本方針の承認

教職員・地域住民・保護者で目標・ビジョンを共有

地域貢献

防犯・防災

小中一貫教育

キャリア教育



見守り隊



学校支援活動



HPによる情報公開



公開授業

「熟議」の実施

学力向上

地域課題解決学習

地域学校協働活動

いじめ・不登校

学校関係者評価
PDCAサイクル

学校評議員制度

「地域に開かれた学校」

これから

従来

Q. 学校運営協議会を設置することで、教職員の負担が増えるのではないかと



A. 学校運営協議会の設置前後は、組織作りや協議会の開催に関する事務に加え、保護者や地域住民等への理解促進等を地道に行う必要があります。そのため、協議会の運営が軌道に乗るまでに一定程度の稼働が必要となります。一方で、「学校関係者評価」や「学校評議員制度」に関する機能は、学校運営協議会の仕組みに組み込むことで組織を一体化することが可能であり、会議を減らすことができます。また、学校運営協議会が組織されていることで、想定外の協議案件が発生しても、改めて会議体を作る必要がなかったという実例が多く報告されています。

また、コミュニティ・スクールは、学校・家庭・地域が「何をを目指すのか」という目標やビジョンを共有し、「何に取り組む必要があるか」等について協議する機関なので、**学校・家庭・地域が適切な役割分担がなされれば、教職員の負担増に直接つながることはありません。**

教職員が地域住民やさまざまな組織とつながり、顔が見える関係になることで、職場体験等で協力していただける企業や団体等を容易に見つけることができたり、学校の理解者が増えることで、苦情の件数が減ったりするなどの効果も現れています。

Q. 教職員の任用に関する意見の申出により、教職員人事に混乱が生じないかと

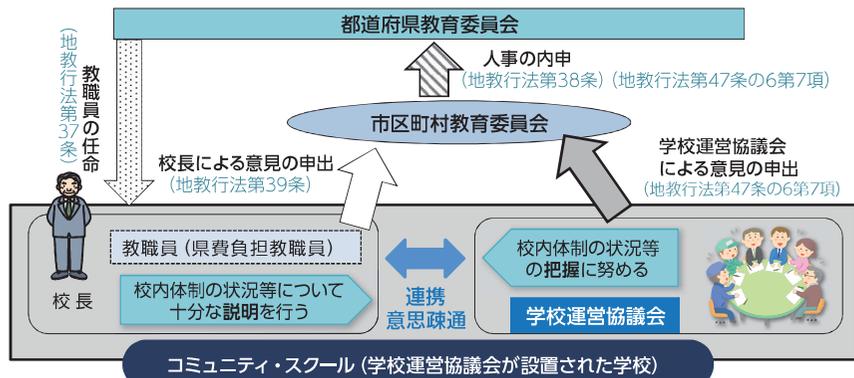
A. 教職員の任用に関する意見は、「地域の特性を生かした教育活動を充実させるための教職員配置」等、校長の学校経営ビジョンを後押しするものが多く、かつ、学校運営協議会は合議制の機関なので、個人としての意見が尊重されるものではありません。そのため、**教職員人事に大きな混乱が生じることはありません。**

また、教職員の任用に関する意見の対象となるのは、採用、転任、昇任に関する事項であり、分限処分、懲戒処分などについては対象とはなりません。

【教職員の任用に関する意見：例】

- ・地域連携の核となる「社会教育主事」の資格を有する教師の配置を要望
- ・若手教職員の人材育成のために、「学年主任ができるリーダー性を持った教師」の配置を要望
- ・「地域に根ざしたスポーツ」に関連する部活動の専門的指導ができる教師の配置を要望
- ・次年度は複数の学年で個別指導が必要な児童がいることから、学習支援員の複数配置を要望

教職員の任用に関する意見については、各学校の特色や地域の実情等を踏まえつつ、どのような事項を学校運営協議会による意見申出の対象とするかについて、各教育委員会の判断に委ねることが適当と考えられることから、平成29年の地教行法改正において、協議会の意見の対象となる事項の範囲については、各教育委員会規則で定めることとなりました。各教育委員会においては、この趣旨を踏まえ、それぞれの域内の事情を勘案し、適切に規則を設けることが求められます。

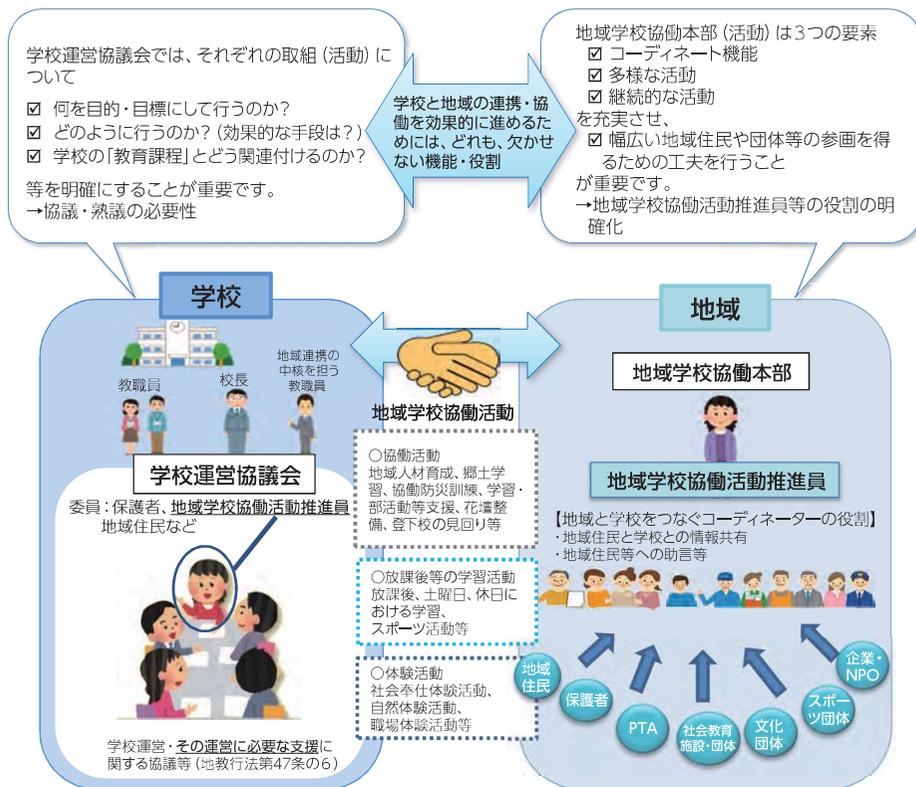


Q. 地域学校協働活動(地域学校協働本部)と学校運営協議会は、どのように一体的に推進していけばいいかと

A. 地域学校協働活動を進めるにあたっては、まず**関係者によるビジョンや目標の共有を行うことが重要であり、学校運営協議会における協議や熟議等がその役割を果たします。**その結果を踏まえ、幅広い地域住民の参画により効果的に地域学校協働活動を行うことにより、子供たちの教育活動の充実や活性化が期待できます。

平成29年3月の地教行法の改正により、学校運営協議会において「学校運営への必要な支援について協議すること」、「学校運営協議会の委員として地域学校協働活動推進員等の学校運営に資する活動を行うものを任命すること」が追加されたことを踏まえ、学校運営協議会と地域学校協働本部が円滑に連携し、両者の機能を効果的に高めていくため、地域学校協働活動推進員が学校運営協議会の委員として学校運営に必要な支援に関する協議に参加するなど、普段からコミュニケーションや情報共有を行うことが重要です。また、地域学校協働活動が効果的かつ適切に行われているか、活動が学校における教育活動や地域の活性化に資するものとなっているかなど、両者の連携により活動に関する振り返りを行い、次年度の地域学校協働活動に反映させることにより、PDC Aサイクルを機能させていくことが重要です。

地域学校協働本部と学校運営協議会は、それぞれが持つ役割を十分に機能させることで両輪としての相乗効果を発揮し、学校運営の改善に結び付けることが期待されます。



※地域学校協働活動推進員
平成29年3月の社会教育法改正により、教育委員会が委嘱することができるようになりました。

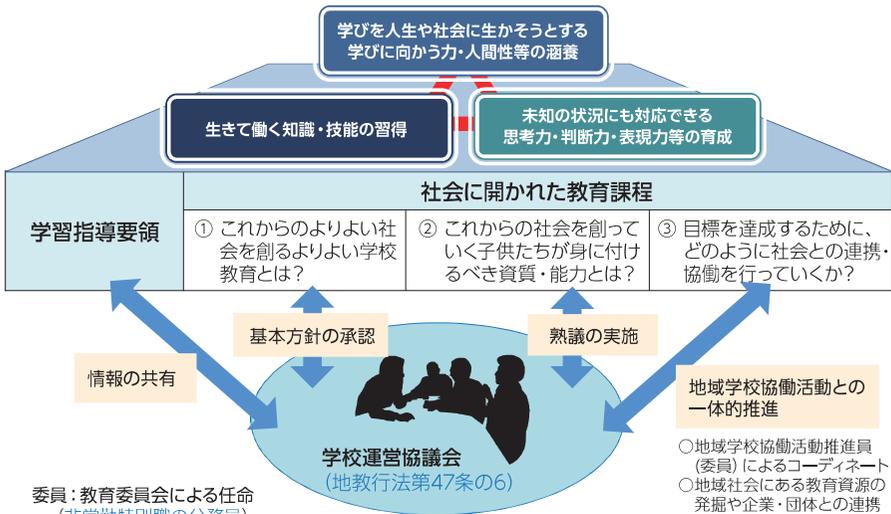
Q. 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校運営協議会にはどのような役割が求められるのか？



A. 今回の学習指導要領の改訂では、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会とが共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を重視し、その理念を前文に明示しています。

各学校においては、この理念に基づき、児童生徒や地域の実情に応じて、**学校として目指すべき教育の在り方を家庭や地域と共有し、その連携及び協働のもとに教育活動を充実させていく**ことが求められます。共有の在り方としては、教育目標やその実現に向けた教育課程の編成方針の共有、地域住民や保護者などから学校の教育活動の成果や課題を聴き取り、次年度以降の改善の参考にするなどが考えられます。その際、例えば学校運営協議会、地域学校協働本部などといった制度を活用したり、保護者会や学校便りなどの機会を生かしたりしていくことなども考えられます。

学校運営協議会は、教育課程の編成等を含む、校長が作成する基本方針の承認を行う権限を有する合議体です。学校運営協議会が機能することで、保護者や地域住民等の意見を学校運営に反映し、**目指すところを対等な立場で共有することができる**ため、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた連携・協働による取組を効果的かつ計画的に進めることができます。



学校教育法施行規則 第52条
小学校の教育課程については、(中略)文科大臣が別に公示する小学校学習指導要領によるものとする。

小学校学習指導要領(平成29年告示)
第1 小学校教育の基本と教育課程の役割
1. 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令(中略)に従い、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。

学校教育法 第37条
校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

地教行法第47条の6 (学校運営協議会制度)
4. 対象学校の校長は、当該対象学校の運営に関して、教育課程の編成その他教育委員会規則で定める事項について基本的な方針を作成し、当該対象学校の学校運営協議会の承認を得なければならない。

例 学校運営協議会を活用した「社会に開かれた教育課程」共有イメージ
A市立B小学校の場合

校長: 学校運営協議会に提示した今年度の「学校運営の基本方針(抜粋)」です。新学習指導要領において重視されている理念も踏まえて基本方針を作成しています。

承認 学校運営の基本方針の共有

①教育課程の編成等について学校運営の「基本方針の承認」を行う

例 [平成30年度の学校運営の基本方針(教育課程の編成に関する部分を抜粋)]

- 小中一貫教育のメリットを生かし、地元の産業・歴史・文化を計画的・継続的に学ぶ9年間の一貫したカリキュラムを編成します。特に、「総合的な学習の時間」、「生活科」、「社会科」において、特色ある教育活動を展開します。
- この地域の子供たちが将来必要となる資質・能力とは何なのか、また、学校の教育課程を通じてどのような地域貢献活動ができるのか等について、「熟議」を実施し、関係者で**目標・ビジョンを共有**します。
- 研究授業や授業参観等を通して、教職員・保護者・地域住民等による「教育課程や授業に関する意見交換の場」を増やします。

2. に関する熟議

①教育課程を通じて、どのような地域貢献活動が可能か?(このことを通じて)
②子供たちに、どのような力を身に付けさせたいか?

目標・ビジョンの共有

地域貢献活動は
◆学校全体でできること
◆学年段階に応じてできること
に分けて整理すべきでは?

子供たちに「協働性」を身につけさせるために、様々な世代が関わる活動を取り入れるべきでは?

子供たち自身、または地域住民と一緒に「何ができるか」を考えさせてみては?

「自己肯定感」を育むために、小中一貫教育校であることを生かし、中学生が小学生に説明・発表等を行う機会を設けては?

地域の伝統文化に関する「本物の技術」に触れさせ、町の自慢を自信を持って説明できる力を身につけさせたい。

③どのように地域や社会と連携・協働していけば良いか?

学校・家庭・地域の役割分担

例	地域	家庭	学校
○学校運営協議会委員が持つネットワークや立場を生かした地域資源の発掘や地域住民・団体・組織・大学等をつなぐ協働体制づくり			カリキュラム・マネジメント [学校の目標を踏まえた教育課程編成]・[人的・物的体制づくり]
○教育課程の編成の方針や熟議の結果を踏まえた地域学校協働活動の実施(多くの地域住民・保護者の参画)			総合的な学習の時間 ○○科 ○○科 ○○科 学校の教育目標と関連を図った目標を設定
○学校運営協議会委員による授業や活動の参観と必要な助言・支援			連携方策の検討
○地域学校協働活動推進員等による学校や地域住民・各団体等との連絡・調整			○地域連携担当教職員による地域学校協働本部や各団体との連絡・調整

地域学校協働活動 アクション共有

☆それぞれの自己評価を踏まえ、学校運営協議会として取組を評価し次の活動に生かす

評価機能を活用したPDCAサイクルの構築

例	地域	家庭	学校	児童・生徒
○地域の物的・人的資源を生かし、学校の基本方針や目標達成に向けた取組が実施できたか。(学校運営協議会委員)		○学校の方針や活動内容を理解し、その実施状況を子供と共有できたか。	○設定した目標の達成に向けて、地域の力を生かした教育活動や授業を展開できたか。	○地域住民に学び、地域の歴史や文化について、自らの言葉で説明できるようになったか。
○学校の教育活動に対して必要な助言・支援等ができたか。		○家庭学習などを通して、学校の教育目標を踏まえて学びを促すことができたか。	○保護者や地域住民等と積極的に対話し、協働による取組ができたか。	○友達や先生だけでなく、多くの保護者や地域住民等と意見を交わすことができたか。

コミュニティ・スクールに関するQ&A

Q. 学校運営協議会の設置に向けて、教育委員会としてはどのようなことに取り組む必要があるか？



A. 平成29年3月の地教行法改正により、学校運営協議会の設置が教育委員会の努力義務となりました。各教育委員会は、**全ての学校がコミュニティ・スクールになることを目指し、一層の設置促進と活動の充実が必要との認識に立って、推進体制の構築をはじめ積極的に取組を進める必要があります。**

都道府県教育委員会の役割としては、域内市区町村の教育委員会や学校関係者等に対し、コミュニティ・スクール等への理解促進を図るとともに、管理職等への研修会の企画・実施等の推進が求められます。また、学校設置者として都道府県立学校におけるコミュニティ・スクールの推進も求められます。

市区町村教育委員会の役割としては、自身の設置している学校の将来像を校長と共有するとともに、地域との連携・協働体制を確立するため、コミュニティ・スクールの推進を支援することが求められます。保護者や地域住民等に対しても、取組の必要性や成果を広く周知するなど、学校への理解と参画を促す環境づくりが重要です。

→教育委員会の取組事例 P.12

Q. 幼稚園や高等学校、特別支援学校にも、学校運営協議会を設置しなければならないのか？

A. 子供たちの生きる力は地域や社会の多様な人々と関わる中で育まれるものであることは、どの段階においても変わるものではありません。地域や社会を支える子供たちを育成していくためにも、**学校種の特性を生かしつつ、幼児・児童・生徒の発達段階に応じて地域や社会との協働体制を構築し、子供たちにとって、社会へつながる持続的・継続的な取組にしていく必要があります、コミュニティ・スクールはそのために有効な手段です。**

◆幼稚園◆

- ・幼児期に家庭や地域の人々など様々な人に愛情をもって関わってもらうことが重要です。
- ・卒園児の保護者や区域の小学校、教育・保育施設との円滑な連携の推進等が期待されます。

◆特別支援学校◆

- ・学校運営協議会を通じて、保護者や地域住民等に加え、医療、保健、福祉等と連携し、共生社会の実現を目指して子供たちが自立し参加できる環境の充実を図ることが期待されます。
- ・特別支援学校が有する資源の有効な活用を図ることを通じて、地域の活性化や、共生社会の実現に貢献していくことも期待されます。

◆高等学校◆

- ・高等学校において、広く地域や社会の参画や協力を促進することは、生徒たちが活躍する将来を見据えた学校運営の改善につながるるとともに、キャリア教育の推進や学校の魅力化、特色づくりに資するものです。
- ・地域の差し迫った課題を、高校生自らが地域と協働して解決していく地域課題解決型学習を実施するなど、高等学校と地域の双方向的な魅力を発信することにより、これからの時代に必要な生徒の主体性や協働性の育成に資することも期待されます。
- ・高等学校は生徒の通学範囲が広いと、学校にとっての「地域」の定義が明確でない場合がありますが、自然災害等の発生を想定し、防災の観点で普段から学校が所在する地域との関係を作っておく必要があります。

→高等学校の取組事例 P.13,14

教育委員会の
取組例

秋田県 由利本荘市教育委員会

市の未来を託せる人材の育成をめざして

首長部局・地域と連携し、ふるさと愛にあふれる子供を育成する

由利本荘市では人口減少が進み、地域の継承が途絶えてしまうことが課題となっていることから、地域を引き継ぎ、地域に根付く人材を育成するため、首長部局・関係機関・地域・教育委員会が連携してコミュニティ・スクールの活性化を進めました。

地域の方々の支援を受けながら地域学習をし、また、子供たちが自ら地域の課題を考え、解決に向けた能動的な学習を通じて、豊かな心とふるさと愛を育む取組を推進しています。

コミュニティ・スクールの活性化に向けた教育委員会の取組

各学校、地域がコミュニティ・スクールを推進していくための条件整備やネットワークの構築、研修機会の確保などに教育委員会が積極的に関与し、市全体でコミュニティ・スクールの活性化を促進しています。

●市協働連携総合会議

首長部局の部長等・地域学校運営協議会委員・青少年育成団体・校長会・PTAなど関係者を委員とし、市全体の方向性や相互連携の調整等について協議しています。

学校・地域・行政が連携して方向性の確認や評価を行う

●市コミュニティ・スクール連絡協議会

市内全小中学校の校長・学校運営協議会会長・地域運営協議会会長・教育委員会各課長等が「コミュニティ・スクール」の取組みについて情報共有を図るとともに、めざす子供像に向けて実践的な対応策を協議する場です。



各学校、地域の情報共有、現状課題の把握、CS委員のネットワーク構築、研修機会の確保

●地域連携調整会議

中学校区単位で行政（総合支所長等）や学校運営協議会委員・青少年育成団体など関係者を委員とし、学校・地域・行政の情報共有や連携して実施する事業などの調整を図っています。

学校・地域・行政が連携して方向性の確認や評価を行う

●協働コーディネーター、CSコーディネーターの配置

地域との調整を担う既存の地域コーディネーター（学校支援活動事業）に加えて、行政や関係機関との調整を担う協働コーディネーター、中学校区ごとの学校との調整役となるCSコーディネーターを配置しています。

学校・地域・関係機関・行政との連携の核となり調整を図る

●学ぶんフォーラム

市の未来を担う子どもたちの学びを、市民対象に一般公開する

市民に対して説明責任を果たすとともに、市民全体で考える機会を作る

- 学校支援活動事業（地域コーディネーターの調整による学校支援活動の展開）
- 学ぶん・チャレンジ・プログラム（首長部局と連携した市独自プログラム）

学校・地域・行政が連携した学習プログラムの展開



ジオサイト探検隊(高海中)

和歌山県では、平成29年度からの3年間で、全ての公立小・中・高等学校及び特別支援学校にコミュニティ・スクールを導入します。平成30年度には、全ての県立高等学校・特別支援学校に導入しました。



県立串本古座
高等学校

地域とともに歩む学校

串本古座高校地域協議会と学校運営協議会

平成28年に串本町、古座川町の関係者が集まり、学校と地域の連携を強化するため、串本古座高校地域協議会が発足しました。29年度にはきのかくにコミュニティスクールとして、串本古座高校学校運営協議会を設置、活動を始めました。両協議会から出た意見を取り入れ、「地域まるごとキャンパス構想」の充実や、中学校長や中学校保護者を対象とした学校説明会の開催、地域協議会と連携した学習の場である「くろしお塾」の取組などを行っています。

きのかくにコミュニティスクール...コミュニティスクールとそれを支える既存の「きのかくに共育コミュニティ」等との連携、協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組み

地域まるごとキャンパス構想

①地域活性化に貢献する人材の育成をめざして

「地域と一体となった特色ある学校づくり」「地域に貢献できる人材の育成」という思いのもと、平成29年度から、地域の教育資源を活用する「地域まるごとキャンパス構想」を立ち上げました。本校グローバルコース（全国募集）では、地元ダイビング事業組合と協力した「マリンスポーツ」、地域の特色や魅力を自然科学分野から学ぶ「海洋環境」など、様々な特色ある授業を行っています。



これからの取組

①地域活性化の核たる存在に

地域にある唯一の高校として、地域協議会と学校運営協議会の両輪で、この地域の将来を担う人材を育成し、地域活性化の核たる存在になるための取組を進めています。

②様々な取組を展開

和歌山大学、早稲田大学等と連携した取組や、トルコ大使館から講師を招聘した学習などを展開していきます。また、「くろしお塾」を主体として、高校生のみならず、この地域の小中学生や社会人を巻き込んだ取組を展開することで、「地域とともに歩む学校」をめざしていきます。



地域の中核を担う若者を育てる

「有田中央高校地域協育会」からきのかくにコミュニティスクールへ

地域の未来を託す若者を“みんながかりで育てよう”との思いから、「有田中央高校地域協育会」は平成23年に発足しました。学校・家庭・地域社会が連携し、それぞれの教育機能を補完・融合しながら様々な提言や支援活動を行っています。平成29年度からは、きのかくにコミュニティスクールとして、学校運営協議会と連携しながら活動を進めています。

- 1.生徒の活動・活躍の場を広げる部会
- 2.さわやかな街づくり部会
- 3.キャリアサポート部会
- 4.アグリ☆スマイル部会
- 5.福祉部会
- 6.地域の学校教育連携部会
- 7.品評会を盛り上げる部会



きのかくにコミュニティスクール

地域社会の中核を担う若者を協同して育てよう

これからの地域をリードする若者

・明るい家庭を築き、地域の活性化に貢献する人材

・職業人として地域の産業を支え、地域の発展に尽くす人材

・地域コミュニティに参画し、地域のつながりに努める人材



きのかくにコミュニティスクールを導入して良かったこと

地域との交流の機会が増加し、地域の一員としての自覚の芽生え

清掃ボランティア活動等に取り組むことにより、地域の方々と接する機会も増え、登下校の様子も明るくなってきました。

地元の企業にも多くの生徒が就職し、就職後も地域の活動に取り組むなど、学校と地域、地元企業との連携につながっています。

学校運営協議会委員長コメント

本校OBとして、また、地域の一員として関わっています。母校が元気になることは、地域も元気になり、地域の活性化にもつながっていきます。これからの取組にも共に注目していきたいと思っています。



玖珠美山高校コミュニティ・スクールの基本構想

Change→Chance→Challenge! 変化を機会に、そして挑戦へ!

基本理念
(めざす学校像)

「自立・創造・協同」の校訓のもと、多様で変化の激しい社会において、逞しく生き抜き、社会をリードする生徒を育成し、「地域の学校」としての存在が地域の活力の源となるよう、地域に根ざし、地域に愛され、地域と共に成長する学校を目指す。

◎コミュニティ・スクール導入の目的

- 地域の人材やアイデアを活かした特色ある学校づくり→地域の総合力で生徒の成長を支え、地域の学校として育て、地域の活性化につなげる。
- 新設高校の定員確保→「おらが町の高校」として、地域をあげて支援する雰囲気は醸成され、高校入試においては生徒に選ばれる総合選択制高校につなげる。
- 地域を担う人材の育成→小・中・高の12年間に渡り児童生徒の育成に関わることで、郷土を愛する心を育み、将来ふるさとを支える人づくりにつなげる。

◎コミュニティ・スクールのイメージ



小・中の学校運営協議会委員が委員として参画
小中学校コミュニティ・スクールで培った
学校、家庭、地域の教育力を生かす

◎地域連携の具体的な取り組み(案)

- 小・中学校のコミュニティ・スクールと連携し、小・中・高が一体となって「地域に密着した系統的なキャリア教育の実践研究」に取り組む。
- 地域のイベントや地元小・中学校、保育園、病院等の行事に積極的に参加する。
- 小・中学校への出前授業に取り組み、地域の児童生徒の育成に高校の教職員や生徒も積極的に関わる。
- 新規就農希望者対象に基礎的農業科目を受講できる機会を設けるなど、異世代間交流により地域の活性化を図る。
- 教育ボランティアを募集し、放課後等での英語や数学等の学びやキャリア教育にかかる支援をお願いする。

学校運営協議会

学校運営協議会での議論 ※右図はH29議題

- ・喫緊の課題である生徒減少に対する具体的な解決策や高校の在り方を議論
- ・普通科、地域産業科という各コースの特色を生かした活動の展開を方向づけ
- ・生徒による発表の場面を設定し、主体性を伸長

美山グローバルプロジェクト(MGP) ~地域問題解決プロジェクト~

生徒の可能性を引き出し、地域に貢献する人材の育成をテーマに学力向上、部活動活性化、地域問題解決の3プロジェクトを実施。ここでは、地域問題解決プログラムを紹介。

課題研究発表会(地域産業科)

- ・地域課題の調査研究、解決策の発表

玖珠の匠・達人に聞く

- ・地域人材による特別講座、課題解決研究

中学校との連携

- ・出前講座、生徒による学校紹介 など

回	平成29年度学校運営協議会の議題等
1	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年度成果と課題 ○平成29年度学校教育目標・経営方針の承認について ○平成29年度学校運営協議会の年間計画について
2	<ul style="list-style-type: none"> ○美山グローバルプロジェクトIIについて ○学校運営の進捗状況について ○学校運営協議会委員との連携について ◎学校運営協議会委員と職員との熟議、意見交換◎ ○熟議、全体協議 (テーマ1) 学校運営協議会に期待すること (テーマ2) 学校の魅力・特色づくりについて
3	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期学校運営進捗状況について(玖珠町・九重町両町支援金含む) ○美山グローバルプロジェクトIIについて ◎学校紹介ビデオ視聴◎ 第1弾 玖珠郡内中学校での高校説明会 第2弾 久大地区高校説明会(玖珠郡内中学校) ※英語科作成 ◎海外短期派遣留学生 体験報告◎
4	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期の学校運営進捗状況について(進路実績等を含む) ○学校評価について ○平成30年度以降の学校運営協議会について ○平成30年度教育課程案 ◎生徒研修報告(東京・つくば研修)◎
5	<ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度学校運営について(進捗状況、学校評価を含む) ○3年生進路状況について ○平成30年度高校入試志願状況について ○平成30年度以降の学校運営協議会について

コミュニティ・スクールの導入状況

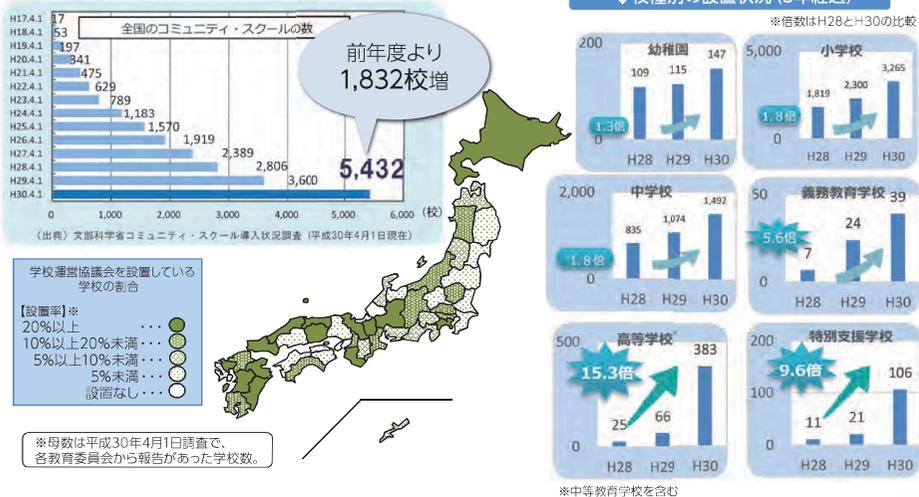
コミュニティ・スクールの導入状況 (学校数)

学校運営協議会を設置している学校数

46都道府県内 **5,432校** (平成30年4月1日現在)

(幼稚園147、小学校3,265、中学校1,492、義務教育学校39、中等教育学校1、高等学校382、特別支援学校106)

全国の公立学校のうち、**14.7%**がコミュニティ・スクールを導入



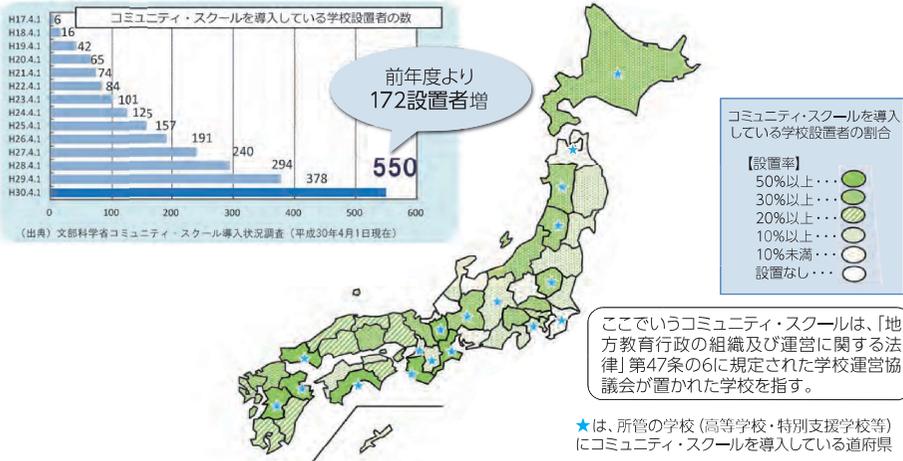
コミュニティ・スクールの導入状況 (学校設置者数)

コミュニティ・スクールを導入している学校設置者数

46都道府県内 **532市区町村 18道府県** (平成30年4月1日現在)

(18道府県、526市区町村 (7政令指定都市を含む)、6学校組合)

全国の学校設置者`のうち、**30.5%**がコミュニティ・スクールを導入



コミュニティ・スクール推進員/情報について

コミュニティ・スクール推進員 (CSマイスター)

CSマイスター派遣制度

文部科学省では、全ての公立学校がコミュニティ・スクールとなることを目指し、自治体に対して導入や推進に向けた積極的な支援を行っています。その一環として、要請に応じてCSマイスター (コミュニティ・スクールの導入や実践経験を有する元校長や教育長、学校運営協議会会長等) を派遣し、教育委員会事務局職員・教職員・地域住民等を対象とした研修会や制度説明会等を支援しています。

赤松 梨江子 徳島県 東みよし町立三好中学校 事務室長	畦地 和也 高知県 黒潮町教育委員会 教育長	阿蘇品 康宏 熊本県 山鹿市立山鹿中学校 再任用教諭
新谷 さゆり 岐阜県 白川村教育委員会事務局 社会教育主事	安齋 宏之 福島県 本宮市立五百川小学校 校長	井上 尚子 東京都 杉並区立天沼小学校運営協議会会長兼専務代理人、学校支援本部アドバイザー
今泉 良正 宮城県 石巻市教育委員会生涯学習課 コミュニティ・スクール事業 企画員	今村 隆信 福岡県 純真短期大学 特任教授	大谷 裕美子 大阪府 美咲の台学園小学校 学校運営協議会副会長、ゆめ☆まなびネット学校支援 コーディネーター
大山 賢一 新潟県 新潟薬科大学 非常勤講師	梶原 敏明 大分県 大分大学COC+推進機構 統括コーディネーター	風岡 治 愛知県 愛知教育大学 准教授
小西 哲也 兵庫県 兵庫教育大学教職大学院 教授	小見 まいこ 新潟県 NPO法人みらいずworks 代表理事	木本 育夫 山口県 光市教育委員会 地域連携教育アドバイザー
玉利 勇二 宮崎県 都城市立五十巾中学校 校長	竹原 和泉 神奈川県 NPO法人まちと学校のみらい 代表理事	辻林 操 三重県 津市立南が丘小学校 学校運営協議会会長
豊島 滋 北海道 安平町教育委員会 生涯学習アドバイザー	永江 多輝夫 鳥取県 南砺町教育委員会 教育長	中村 正則 兵庫県 兵庫教育大学教職大学院 教授
布川 元 山形県 大石田町教育委員会 教育長	野澤 令照 宮城県 宮城教育大学 学長付特任教授	萩本 善三 京都府 京都教育大学 客員教授
森 保之 福岡県 福岡教育大学教職大学院 教授	森谷 正孝 岡山県 NPOの法人子どもたち共に学ぶ 教室ニアスクール 副理事長	四柳 千夏子 東京都 一般社団法人みたかSC サポートネット 代表理事

コミュニティ・スクールの情報について

全国コミュニティ・スクール連絡協議会

全国コミュニティ・スクール連絡協議会では、全国の教育委員会、学校関係者、学校運営協議会の皆さんをネットワークでつなぎ、全国各地の事例についての情報共有をすることで、コミュニティ・スクールの更なる普及・充実に向けた活動に取り組んでいます。

〒604-8064 京都市中京区富小路六角下る骨屋之町549 京都市教育委員会事務局 生涯学習部内
TEL: 075-251-0456 FAX: 075-251-0449
全国コミュニティ・スクール連絡協議会HP <http://www.japan-cs.org/>

文部科学省ホームページ

コミュニティ・スクール

検索

URLはこちら
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/index.htm

Facebookでも情報発信中

CSマイスターや推進フォーラムの情報を随時発信しています



スマホからはこちら

キャリア教育

只今、市立M中学校は
職場体験学習の準備中...

生徒の受け入れを
お願いできませんか
お願ひできませんか

A先生
ハッキリと
叱りつけて子ども
の相手なんの
出来ませよ

保護者
B先生

うちの子どもはフットボール
選手を目指してる
ので地元の職場体験
は行かなくていいです

教材研究
部活指導
教員研修会

通常業務
をこなすのに
精一杯...

職場体験の
準備が進まない!!

コミュニティスクール
なら
協働で課題解決

ちよつと
まamma

商工会の
ネットワークで
受け入れ先を探しま
す

M中学校の様子
はよく分かってるので
先方にも話しが
しやすいわ

職場体験の
意義について
理解が深まりま
す保護者全体の
周知に努めます

商工会役
員PTA代表
学校長

大学入試改革

目立って高校では
学校運営協議会
が開かれてるんだが...

今大学が求め
ているのは
主体性
多様性
協働性
を備えた人材

今までとあまり
変わりませよ

先生
C先生

今まで通り
個別に
対応して
いいですか

D先生

先生方、
これこそ我々
が求める
社会人の姿
です

地元企業
担当

変化する激しい
時代に対応
出来る力が
必要なの
です

AIの発達
Go-Work
Society 5.0

PTA代表
子供たちの
将来を
見越して
高等学校も
変わらなければ
ならないのでは?

今こそ
高等学校も
コミュニティスクール
改革!!

熟議の
場
高校

地元企業
人事担当

地域課題解決
への取組が鍵です
企業もぜひ高校
とコラボしたい
と思います

グループ
ディスカッション

プログラミング教育

広がる可能性
スクール

市立H小学校
2020年
プログラミング教育
全面実施に向け
協議中

私ほプログラミング
なんて学んでません
どうやっマ

E先生
指導
した
ら
い
い
の
で
す
か?

必要性
は分かる
けど...
小学校では
対応
が
難
し
い

校長
F先生

コミュニティスクールが機能していれば、
地元の大学や高専等から協力を得やすくなり
ます。学生ボランティアの派遣を検討します。

H大学
情報
学部
教授

公民館長

元システム
エンジニア
自分のスキルを
生かしたいです

要請

人材を知って
います

適材適所な
人材を
知って
います

学習支援員

新しい時代の教育に“即”対応!!

みんな顔見知り

自治会役
員

まずは家庭から
通勤前
見知り

おはよう
おはよう
おはよう

今日は
5時間
授業
か
お父さん

いやあ、3時半には
帰るわね

帰宅時間の確認

共有連携
見落とし
ナシ

地域
学校

児童の
安全
防犯
活動

自治会役
員

今日は
3班の子たち
やけに遅いな

途中一年生が
トイレを
借りたの
で

田中さん
おくんが
かかれました

先生に連絡
したい

情報発信

通学路
安全点検

低学年の
下校
指導
法

1 とことん続ける目標はできたかどうかはっきりわかりますか？

		はっきりしている	はっきりしていない	何をしたらいいのかわからない	目標がしっかりこない	
4月	1A	25	6	0	1	
	1B	29	3	0	0	
	1C	28	2	1	0	
	1年合計	82	11	1	1	
	2A	32	0	0	0	
	2B	32	0	0	0	
	2C	29	0	1	1	
	2年合計	93	0	1	1	
	3A	27	1	0	0	
	3B	29	0	0	0	
	3C	29	0	0	1	
	3年合計	85	1	0	1	
	全体合計	260	12	2	3	277
	%	93.9	4.3	0.7	1.1	
5月		はっきりしている	はっきりしていない	何をしたらいいのかわからない	目標がしっかりこない	
	1A	29	3	0	0	
	1B	30	1	0	1	
	1C	30	0	0	2	
	1年合計	89	4	0	3	
	2A	26	2	0	0	
	2B	30	0	0	0	
	2C	31	0	0	0	
	2年合計	87	2	0	0	
	3A	28	0	0	0	
	3B	27	1	0	0	
	3C	29	0	0	0	
	3年合計	84	1	0	0	
	全体合計	260	7	0	3	270
	%	96.3	2.6	0.0	1.1	
6月		はっきりしている	はっきりしていない	何をしたらいいのかわからない	目標がしっかりこない	
	1A					
	1B					
	1C					
	1年合計	0	0	0	0	
	2A					
	2B					
	2C					
	2年合計	0	0	0	0	
	3A					
	3B					
	3C					
	3年合計	0	0	0	0	
	全体合計	0	0	0	0	0
	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

2 とことん続ける目標が何日できていますか

		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
4月	1A	7	3	4	7	8	2	1	0
	1B	7	5	6	6	5	1	0	2
	1C	13	4	7	2	3	1	0	1
	1年合計	27	12	17	15	16	4	1	3
		56				24			
	2A	3	7	9	11	0	1	0	1
	2B	10	4	12	4	2	0	0	0
	2C	10	7	7	8	0	0	0	0
	2年合計	23	18	28	23	2	1	0	1
		69				4			
	3A	6	5	7	6	3	0	0	1
	3B	6	4	12	6	1	0	0	0
	3C	7	8	9	3	1	1	0	0
	3年合計	19	17	28	15	5	1	0	1
		64				7			
	全体合計	69	47	73	53	23	6	1	5
		189				35			

68.23104693

12.63537906

5月		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
	1A	8	6	6	2	5	1	2	2
	1B	7	7	10	2	5	0	0	1
	1C	12	2	10	3	2	1	2	0
	1年合計	27	15	26	7	12	2	4	3
		68				21			
	2A	7	3	7	7	3	1	0	0
	2B	9	8	7	4	2	0	0	0
	2C	6	8	11	3	2	0	1	0
	2年合計	22	19	25	14	7	1	1	0
		66				9			
	3A	7	6	7	2	3	1	1	1
	3B	9	6	8	4	0	0	0	1
	3C	13	4	6	5	0	1	0	0
	3年合計	29	16	21	11	3	2	1	2
		66				8			
	全体合計	78	50	72	32	22	5	6	5
		200				38			

74.1

14.1

6月		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
	1A								
	1B								
	1C								
	1年合計	0	0	0	0	0	0	0	0
		0				0			
	2A								
	2B								
	2C								
	2年合計	0	0	0	0	0	0	0	0
		0				0			
	3A								
	3B								
	3C								
	3年合計	0	0	0	0	0	0	0	0
		0				0			
	全体合計	0	0	0	0	0	0	0	0
		0				0			

#DIV/0!

#DIV/0!

3 応援したり励ましたり何日できていますか

		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
4月	1A	6	4	7	3	8	3	0	1
	1B	5	5	8	2	5	2	4	1
	1C	8	6	2	5	7	2	1	1
	1年合計	19	15	17	10	20	7	5	3
		51				35			
	2A	7	4	10	4	5	1	1	0
	2B	3	9	8	3	5	1	0	3
	2C	7	5	8	5	5	0	0	1
	2年合計	17	18	26	12	15	2	1	4
		61				22			
	3A	9	1	6	5	2	1	1	3
	3B	10	1	5	5	6	0	0	2
	3C	12	6	5	2	3	2	0	0
	3年合計	31	8	16	12	11	3	1	5
		55				20			
	全体合計	67	41	59	34	46	12	7	12
		167				77			

60.07194245

27.69784173

5月		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
	1A			6	7	9	7	1	2
	1B			12	7	5	2	4	2
	1C			7	13	6	4	1	1
	1年合計	0	0	25	27	20	13	6	5
		52				20	24		
	2A			12	4	9	2	1	0
	2B			12	4	8	3	1	2
	2C			11	6	8	5	0	1
	2年合計	0	0	35	14	25	10	2	3
		49				25	15		
	3A			10	5	6	3	0	4
	3B			11	5	6	4	1	1
	3C			16	5	4	2	2	0
	3年合計	0	0	37	15	16	9	3	5
		52				16	17		
	全体合計	0	0	97	56	61	32	11	13
		153				61	56		
		56.7				22.6	20.7		

4 あなたは自分に自信が持てるようになっていきますか？

		自信がある	つき始めている	消えかけている	自信がない	
4月	1A	5	19	4	4	
	1B	3	22	1	6	
	1C	11	16	1	3	
	1年合計	19	57	6	13	95
		20.0	60.0	6.3	13.7	
	2A	10	20	0	2	
	2B	8	23	0	1	
	2C	12	18	1	0	
	2年合計	30	61	1	3	95
		31.6	64.2	1.1	3.2	
	3A	6	21	1	0	
	3B	10	19	0	0	
	3C	9	18	1	2	
	3年合計	25	58	2	2	87
		28.7	66.7	2.3	2.3	
	全体合計	74	176	9	18	277
	%	26.7	63.5	3.2	6.5	

5月		自信がある	つき始めている	消えかけている	自信がない	
	1A	6	18	3	5	
	1B	7	20	3	2	
	1C	9	20	1	2	
	1年合計	22	58	7	9	96
		22.9	60.4	7.3	9.4	
	2A	9	16	1	2	
	2B	9	18	3	0	
	2C	9	21	0	1	
	2年合計	27	55	4	3	89
		30.3	61.8	4.5	3.4	
	3A	6	18	3	1	
	3B	8	19	0	1	
	3C	9	19	0	1	
	3年合計	23	56	3	3	85
		27.1	65.9	3.5	3.5	
	全体合計	72	169	14	15	270
	%	26.7	62.6	5.2	5.6	

91.10%

8.80%

6月		自信がある	つき始めている	消えかけている	自信がない	
	1A					
	1B					
	1C					
	1年合計	0	0	0	0	0
		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	2A					
	2B					
	2C					
	2年合計	0	0	0	0	0
		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	3A					
	3B					
	3C					
	3年合計	0	0	0	0	0
		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	全体合計	0	0	0	0	0
	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

5 明日への扉によかったところ・もう一度
やり直せるとしたらが書けていますか

		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
4月	1A	6	3	5	7	3	3	2	3
	1B	10	1	6	3	7	3	1	1
	1C	12	3	6	4	2	2	1	1
	1年合計	28	7	17	14	12	8	4	5
		52				29			
	2A	11	3	4	5	5	1	2	1
	2B	17	0	3	3	4	2	0	3
	2C	14	4	2	6	1	0	1	3
	2年合計	42	7	9	14	10	3	3	7
		58				23			
	3A	12	2	7	2	2	0	2	1
	3B	11	5	5	0	5	1	1	1
	3C	7	5	3	1	2	5	2	5
	3年合計	30	12	15	3	9	6	5	7
		57				27			
	全体合計	100	26	41	31	31	17	12	19
		167				79			

60.28880866

28.5198556

5月		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
	1A	6	1	7	4	6	4	3	1
	1B	7	2	8	5	3	3	2	2
	1C	9	2	4	3	5	6	1	2
	1年合計	22	5	19	12	14	13	6	5
		46				38			
	2A	11	2	6	2	4	3	0	0
	2B	12	3	5	1	3	4	0	2
	2C	6	3	6	6	5	2	0	3
	2年合計	29	8	17	9	12	9	0	5
		54				26			
	3A	7	5	11	2	1	0	0	1
	3B	11	2	6	4	4	0	1	0
	3C	7	3	3	5	1	1	3	6
	3年合計	25	10	20	11	6	1	4	7
		55			11	18			
	全体合計	76	23	56	32	32	23	10	17

57.6

11.9

30.5

6月		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
	1A								
	1B								
	1C								
	1年合計	0	0	0	0	0	0	0	0
		0				0			
	2A								
	2B								
	2C								
	2年合計	0	0	0	0	0	0	0	0
		0				0			
	3A								
	3B								
	3C								
	3年合計	0	0	0	0	0	0	0	0
		0				0			
	全体合計	0	0	0	0	0	0	0	0

#DIV/0!

#DIV/0!

6 一言も話さずに掃除ができていますか

		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
4月	1A	6	2	10	6	3	3	1	1
	1B	9	4	10	4	2	1	0	2
	1C	3	4	7	5	6	0	3	3
	1年合計	18	10	27	15	11	4	4	6
		55				25			
	2A	5	3	7	6	8	3	1	0
	2B	3	8	4	7	5	4	0	1
	2C	2	2	10	5	7	2	1	2
	2年合計	10	13	21	18	20	9	2	3
		44				34			
	3A	5	3	9	5	3	1	0	2
	3B	5	5	9	5	3	0	1	1
	3C	5	4	9	4	4	1	1	1
	3年合計	15	12	27	14	10	2	2	4
		54				18			
	全体合計	43	35	75	47	41	15	8	13
		153				77			

55.23465704

27.79783394

5月		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
	1A			7	7	11	3	2	2
	1B			11	6	4	4	5	2
	1C			6	5	12	6	1	2
	1年合計	0	0	24	18	27	13	8	6
		42				27	27		
	2A			6	6	12	3	1	0
	2B			4	10	10	5	0	1
	2C			6	7	10	6	1	1
	2年合計	0	0	16	23	32	14	2	2
		39				32	18		
	3A			4	4	7	8	1	4
	3B			6	7	8	3	0	4
	3C			7	8	9	2	1	2
	3年合計	0	0	17	19	24	13	2	10
		36				24	25		
	全体合計	0	0	57	60	83	40	12	18
		117				83	70		

7 登校・授業予鈴・部活動等時間が守れていますか？

		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
4月	1A	16	2	8	4	2	0	0	0
	1B	27	1	3	1	0	0	0	0
	1C	22	3	2	2	2	0	0	0
	1年合計	65	6	13	7	4	0	0	0
		84				4			
	2A	23	3	5	1	0	0	0	0
	2B	20	7	3	2	0	0	0	0
	2C	20	3	8	0	0	0	0	0
	2年合計	63	13	16	3	0	0	0	0
		92				0			
	3A	15	4	7	1	0	1	0	0
	3B	18	4	5	1	1	0	0	0
	3C	17	8	3	2	0	0	0	0
	3年合計	50	16	15	4	1	1	0	0
		81				2			
	全体合計	178	35	44	14	5	1	0	0
		257				6			

92.77978339

2.166064982

5月		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
	1A			17	9	1	5	0	0
	1B			25	4	2	0	0	1
	1C			24	5	3	0	0	0
	1年合計	0	0	66	18	6	5	0	1
		84				6	6		
	2A			22	5	1	0	0	0
	2B			21	7	1	1	0	0
	2C			22	7	1	0	0	1
	2年合計	0	0	65	19	3	1	0	1
		84				3	2		
	3A			22	4	2	0	0	0
	3B			24	3	0	0	1	0
	3C			20	7	1	0	1	0
	3年合計	0	0	66	14	3	0	2	0
		80				3	2		
	全体合計	0	0	197	51	12	6	2	2
		248				12	10		

91.9

4.4

3.7

8 聞こえる挨拶ができていますか？

		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
4月	1A	13	4	4	5	4	1	0	1
	1B	19	2	6	3	2	0	0	0
	1C	25	2	2	1	0	1	0	0
	1年合計	57	8	12	9	6	2	0	1
		77				9			
	2A	17	3	7	0	2	0	2	1
	2B	26	3	3	0	0	0	0	0
	2C	18	4	6	2	1	0	0	0
	2年合計	61	10	16	2	3	0	2	1
		87				6			
	3A	17	2	6	2	0	0	1	0
	3B	17	4	5	3	0	0	0	0
	3C	16	8	3	2	1	0	0	0
	3年合計	50	14	14	7	1	0	1	0
		78				2			
	全体合計	168	32	42	18	10	2	3	2
		242				17			

87.36462094

6.137184116

5月		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
	1A			24	2	2	4	0	0
	1B			24	6	1	1	0	0
	1C			27	2	2	1	0	0
	1年合計	0	0	75	10	5	6	0	0
		85				5	6		
	2A			18	3	3	4	0	0
	2B			26	4	0	0	0	0
	2C			21	6	4	0	0	0
	2年合計	0	0	65	13	7	4	0	0
		78				7	4		
	3A			23	2	2	0	1	0
	3B			22	1	4	1	0	0
	3C			26	1	1	1	0	0
	3年合計	0	0	71	4	7	2	1	0
		75				7	3		
	全体合計	0	0	211	27	19	12	1	0
		238				19	13		
		88.1				7.0	4.8		

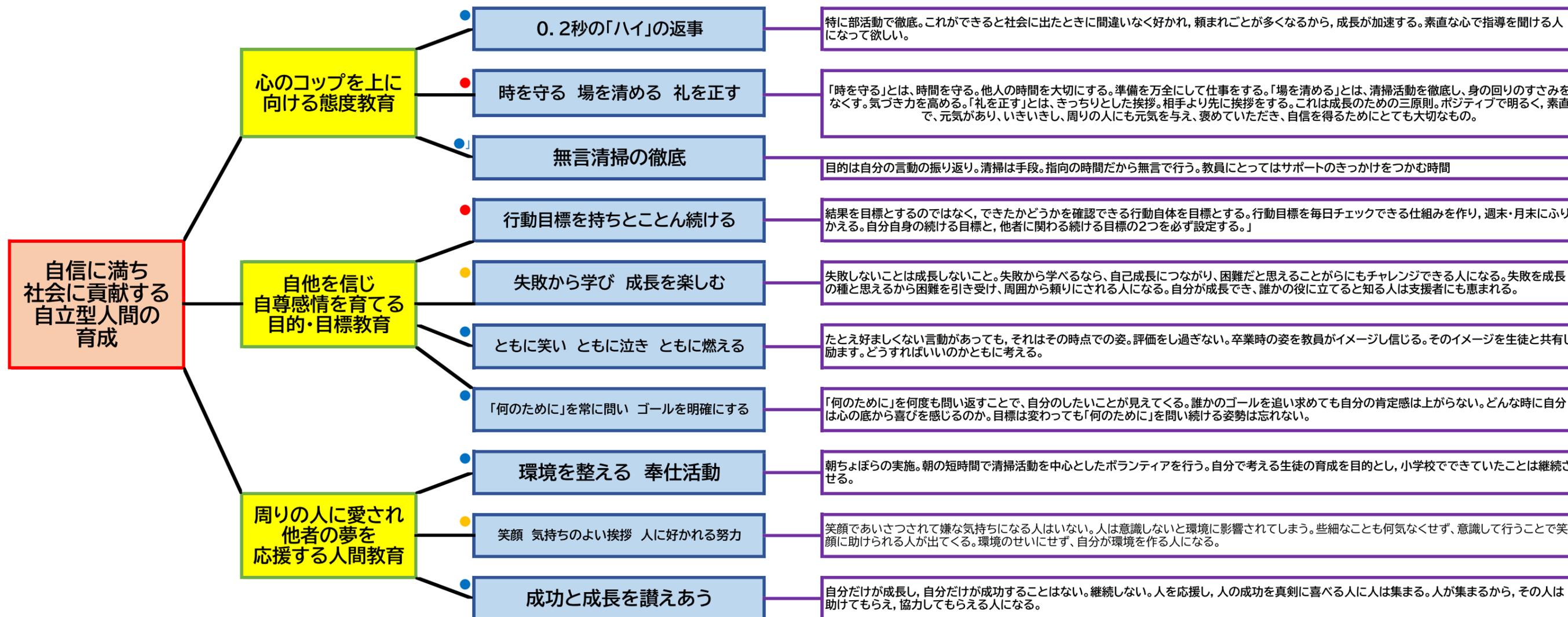
9 「朝ちょぼら」に参加したことがありますか？

		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
4月	1A	1	1	0	2	2	2	8	16
	1B	0	0	0	0	0	3	1	28
	1C	2	0	0	0	0	2	3	24
	1年合計	3	1	0	2	2	7	12	68
		4				89			
	2A	1	0	0	0	0	0	1	30
	2B	0	0	0	0	2	3	0	27
	2C	1	0	0	0	0	0	2	28
	2年合計	2	0	0	0	2	3	3	85
		2				93			
	3A	0	0	0	0	0	0	0	28
	3B	0	0	0	0	0	0	0	29
	3C	0	0	0	0	0	0	0	30
	3年合計	0	0	0	0	0	0	0	87
		0				87			
	全体合計	5	1	0	2	4	10	15	240
		6				269			

2.166064982

97.11191336

5月		7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
	1A			2	1	2	0	6	21
	1B			1	0	1	2	2	26
	1C			2	1	2	3	7	17
	1年合計	0	0	5	2	5	5	15	64
		7				5	84		
	2A			0	0	0	0	1	27
	2B			0	0	1	0	1	28
	2C			1	0	0	1	1	28
	2年合計	0	0	1	0	1	1	3	83
		1				1	87		
	3A			0	0	0	0	0	28
	3B			0	0	0	0	0	28
	3C			0	0	0	0	0	29
	3年合計	0	0	0	0	0	0	0	85
		0				0	85		
	全体合計	0	0	6	2	6	6	18	232
		8				6	256		
		3.0				2.2	94.8		



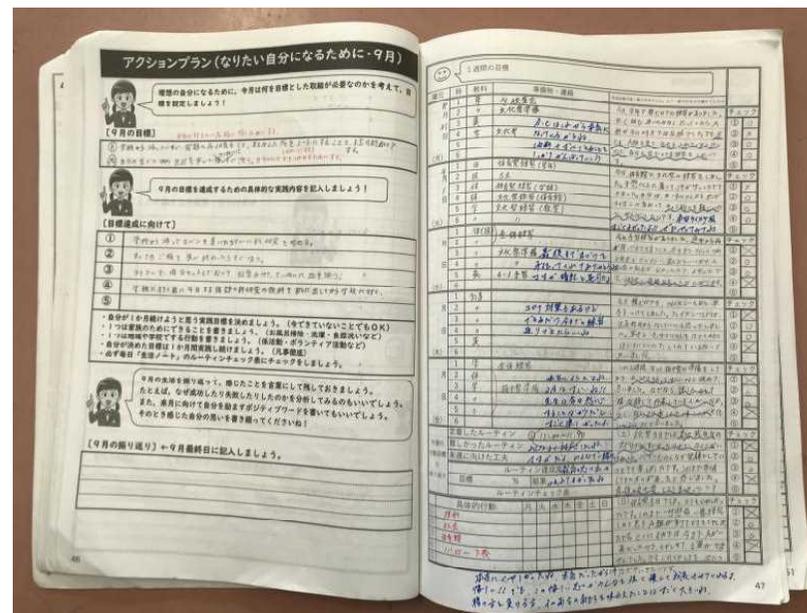
板野中学校の重点教育目的・目標

令和2年度「キャリア・パスポート」スタートアップ事業 事業報告書

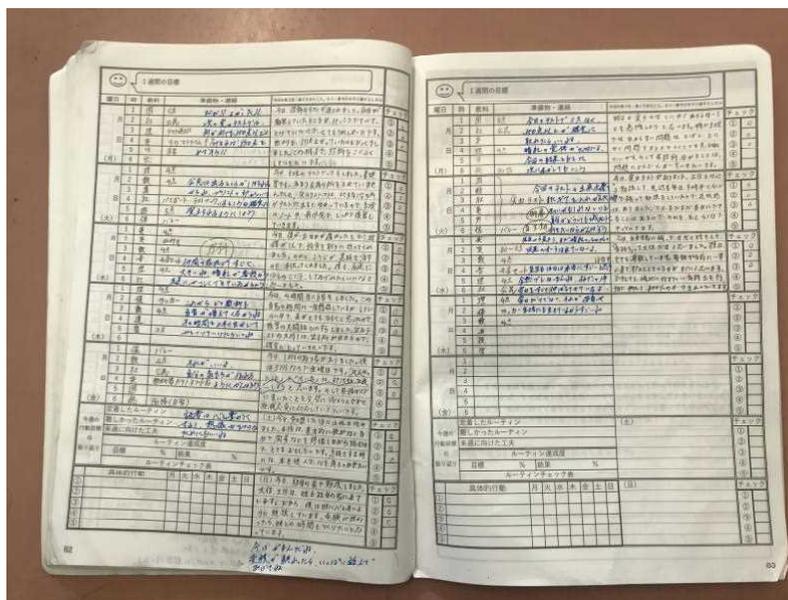
学校名	板野中学校	校長名	山田 匠
目標			
<p>キャリアパスポート「明日への扉」を日々の振り返りに活用し、具体的な行動目標の設定とその振り返りを積み重ねる。その中で生徒が自らの価値観に気づき、高めあう人間関係を築く力を意識して、自分で伸ばし、自己肯定感を高める。行事等での振り返りについても貼らし、成長の足跡が見えるようにする。</p>			
取組内容			
<p>※実施した内容について、実施日等も明記して記載すること。 ※実施時の様子がわかる写真等を添付すること。</p>			
<ol style="list-style-type: none"> 1 生活記録を兼ねたキャリアパスポート「明日への扉」の活用 <ol style="list-style-type: none"> ①日々の生活の振り返りに利用するとともに、自分で設定した1週間の行動目標に対する振り返りを記述することを徹底した。 ②月ごとの行動目標を自分で設定し、年間を通して定期的に振り返りを積み重ね、その成果を学級代表が全校集会で発表し、感想をキャリアパスポートに記入した。 <p>※①②の達成度をアンケート調査で振り返り、自己肯定感を感している生徒の率を向上させることができた。</p> 2 原田隆史講演会の実施（対象 全学年） 令和2年9月25日（金）5・6校時 3 小林さやか講演会の実施（対象 全学年・保護者） 令和2年11月20日（金）5・6校時 4 キャリア教育パネルディスカッションの実施（対象 2年生） 令和2年11月30日（月）5・6校時 パネラー 株式会社 パッケージ松浦 松浦洋司 代表取締役社長 株式会社 フジタ建設コンサルタント 藤田達也 代表取締役 一般社団法人キラニコ 後藤真美 代表理事（障害児等療育支援事業） 有限会社 オウ・ポワヴル 森 保介 代表取締役 5 マンモスこういち講演会の実施（対象 全学年） 令和2年12月22日（金）5・6校時 			
研究の成果と課題			
<p>成果 キャリアパスポート「明日への扉」を用いた日々の生活の振り返り、週ごと・月ごとの行動目標に対する振り返りを学級担任を中心として徹底して取り組んだ。また、3度の講演会は、「やればできる」ということを生徒に強く訴え、できるようになるための方法を中学生にわかりやすく伝える内容であり、生徒の行動目標への取組状況と重なり自己肯定感を高める要因となった。他にも、無言清掃の取組で午前の生活の振り返りを意識させるなど、常に自分の目標と取組状況がどうであったかを意識させることを重視した取組も行っている。毎月の生徒へのアンケート調査の「あなたは自分に自信がもてるようになっていませんか？」の項目では、全体集計で「自信がある」19.8%・「つき始めている」68.1%で、計 87.9 %（11 月末調査）と生徒の自己肯定感が高まってきている。</p> <p>課題 自己肯定感が高まってきているが、「つき始めている」が 68.1%であり、途中段階であると言える。自信がつき始めている生徒をどのように「自信がある」に変えていくか、また、自信がもてていない 12.1%の生徒にどのようにして自信をもたせていくかが今後の課題である。次年度へ向けては、新学習指導要領全面実施、GIGA スクール構想の始まりの年であり、授業や学習の中で生徒の自己肯定感を高めていく取組も必要であると考えている。</p>			



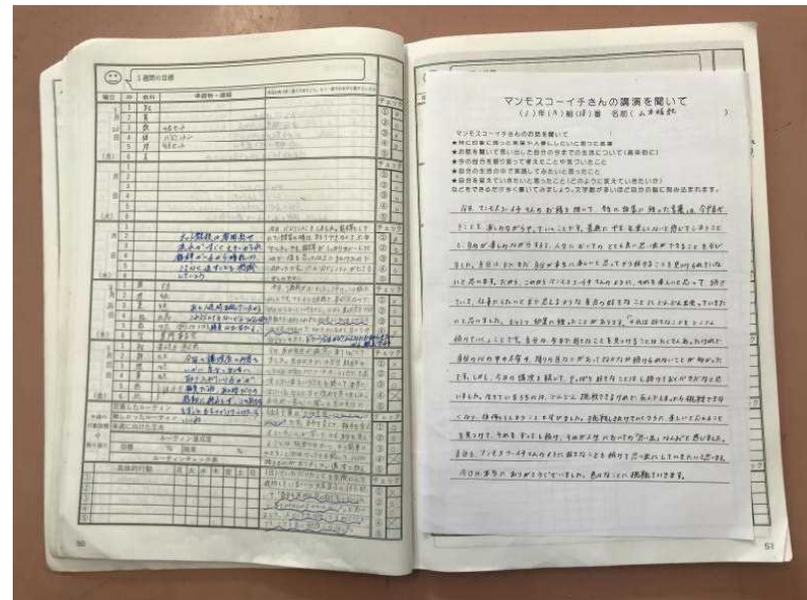
キャリアパスポート「明日への扉」1



キャリアパスポート「明日への扉」2



キャリアパスポート「明日への扉」3



キャリアパスポート「明日への扉」4



原田隆史講演会



小林さやか講演会



キャリア教育パネルディスカッション



マンモスこういち講演会

「キャリア・パスポート」スタートアップ事業 事業計画書

学校名	板野町板野中学校	担当者 職・氏名	教頭・三木 健司
-----	----------	----------	----------

1 地域・学校におけるキャリア教育の現状と課題

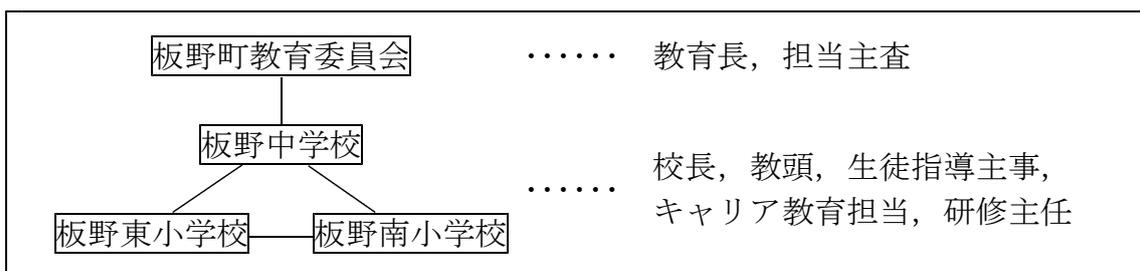
地域における狭義のキャリアとしての住民の職業構成は農業・土木建築・公務員を中心としたものが多く、生徒にとって様々な勤労観・職業観を醸成する環境は弱い。学校としては、生徒の現状を踏まえ、社会に出て大切にされる人間として、「自立型人間」の育成を目指すことで、自己肯定感を高めたいと考えている。

2 目標

キャリアパスポート「明日への扉」を日々の振り返りに活用し、具体的な行動目標の設定とその振り返りを積み重ねる。その中で生徒が自らの価値観に気づき、高めあう人間関係を築く力を意識して、自分で伸ばし、自己肯定感を高める。行事等での振り返りについても貼らし、成長の足跡が見えるようにする。

3 組織体制（組織図）

「キャリア・パスポート」スタートアップ事業実行委員会



4 取組内容

- 1 生活記録を兼ねたキャリアパスポート「明日への扉」の活用
 - ①日々の生活の振り返りに利用するとともに、自分で設定した1週間の行動目標に対する振り返りを記述することを徹底する。
 - ②月ごとの行動目標を自分で設定し、年間を通して定期的に振り返りを積み重ね、その成果を学級代表が全校集会で発表し、感想をキャリアパスポートに記入する。
- 2 講演会の実施（全学年 11月）
- 3 リモートによる幼小中連携
 - ①町内各小学校1年生と中学校1年生による絵本の読み聞かせ（10月）
 - ②町内各幼稚園と中学校3年生によるクリスマス会（12月）
 - ③町内各小学校6年生と中学2年生による進路・生活相談（1月）
- 4 タブレットによる職場との交流学习（対象 中学2年生）（11月）

職業の楽しさと充実感等をリモートで会社経営者等から説明していただき、その後中学2年生の質問に答えていただく。

5 成果の検証方法

「4取組内容」1の①②の達成度をアンケート調査で振り返り、自己肯定感を感じている生徒の率を継続的に調べ、考察する。

計 画 書 記 入 要 領

1 地域・学校におけるキャリア教育の現状と課題

これまでの取組と現時点での課題について具体的に記入する。

2 目標

「キャリア・パスポート」の活用によって、期待される成果を記入する。

3 組織体制

校内の組織体制がわかるように組織図を示しながら記入する。

「キャリア・パスポート」スタートアップ事業実行委員会を設置する。

4 取組内容

取組内容を実施時期を含めて具体的に記入する。

【例】・「キャリア・パスポート」の活用計画を「キャリア教育全体計画」を踏まえて作成する。

- ・地域や学校の実情に合わせた職場見学や職場体験，キャリア教育講演会，出前授業等を計画・実施し，「キャリア・パスポート」の内容に反映させる。
- ・一人一台端末を活用した職業調べや進路探究等の活動の充実を図る。
- ・キャリアカウンセリングについての教員研修を実施し，「キャリア・パスポート」を活用した効果的な面談方法等を体験的に学ぶ。
- ・校種間における「キャリア・パスポート」の円滑な引き継ぎや引き継いだ「キャリア・パスポート」の効果的な活用について研究する。
- ・他校種との情報交換会を開催する。
- ・次年度に向け，「キャリア・パスポート」の内容を見直し，改善を図る。

5 成果の検証方法

取組に対してどのように評価・点検を行うかを記入する。

(別紙様式2)

幼・小・中連携推進事業
「学びのかけ橋」プロジェクト実施報告書

教育委員会名	板野町教育委員会	担当者 職・氏名	主事・三原侑也
--------	----------	----------	---------

研究地域指定校

幼稚園等	板野保育園
小学校	板野東小学校 板野西小学校 板野南小学校
中学校	板野中学校

1 実践研究テーマ

自信に満ち、社会に貢献する「自立型人間」の育成

2 現状と課題

町内の学校における人権教育を徹底し、生徒指導の充実を期することを目的に、板野町学校人権教育研究会を組織し活動している。特別な支援・配慮を必要とする生徒が全体の約二割を占めており、家庭や地域と連携を図りながら、きめ細かな指導をすることが必要とされている。
--

3 実践研究の主な内容や方法等

月	研究の内容及び方法	期待される効果
4	小中連絡会議の開催	小中の円滑な接続
5	中学校を会場とした小学校教員の授業参観及び交流	教員の資質の向上
6	小学校を会場とした中学校教員の授業参観及び交流	小中の円滑な接続 小中の相互理解
9	板中祭 (体育の部予行) 板中祭 (文化の部)	児童・生徒の交流 (園児との交流中止)
10	中学校オープンスクール 町内生徒指導連絡協議会	小中の円滑な接続 保護者への啓発 小中の相互理解
12	リモートによるクリスマス会 (各幼稚園と中学3年生の交流) 保育実習 (保育園児と中学3年生)	園児・生徒の交流
1	リモートによる進路・生活相談	小中を見通した教育ビ

	(各小学校6年生と中学2年生の交流) 町内生徒指導計画作成会議	ジョンの共有 児童・生徒の交流 小中の円滑な接続, 相互理解
2	リモートによる読み聞かせ (各小学校1年生と中学1年生の交流) 町内生徒指導計画作成会議	児童・生徒の交流 小中の円滑な接続, 相互理解
3	小中連絡会議の開催	小中の円滑な接続

4 成果のまとめや普及の方法等の見通し

〈幼中〉

- ・ 中学3年生が各幼稚園へ

オンラインによるクリスマス会を実施し得られた。

幼稚園児にわかりやすく読む工夫や本番までの計画を立てることで、幼稚園児への接し方に最初は戸惑いも見られたが、次第に動作や笑顔が増え、相互のコミュニケーションをとりながら交流をすることができるようになってきた。

〈小中〉

- ・ 中学2年生が各小学校6年生へ

生活・進路相談を6年生から受けることで、中学2年生にとっては、後輩として入ってくる新入生に向けて話をするという自覚が生まれた。また、先輩として小学生を歓迎する雰囲気が高めることができた。来年度、最高学年となり、部活動でも中心になって最後の総体を迎える。また、受験生として、自らの進路を切り開いていくためにも、今回のような、いろいろな成功体験を通して成長させていきたい。

また、6年生にとっても、多くの疑問を解消することができ、中学校生活への不安が少なくなった。

- ・ 中学1年生が各小学校1年生へ

読み聞かせの方法を理解し、わかりやすく大きな声で読む練習をした。小学1年生が対象ということを理解し、グループで話し合い工夫をこらして、楽しめる内容にすることができた。

また、生徒への事前・事後のアンケート結果からも、「班内での役割を果たせたか。」「相手にわかりやすく読めたか。」という項目では、肯定的な意見がそれぞれ95%と90%という良い結果が見られた。生徒達は、小学校1年生が自分たちの読み聞かせを喜んでくれたことに、大きな喜びと達成感を味わうことができた。この成功体験を積み重ねることで自信をつけ、さらに2年生での職場体験学習や3年生での高校体験学習・進路決定へとつなげていきたい。

〈全体〉

全体として、リモートによる交流会をスムーズに行うことができた。鳴門教育大

学の阪根先生のご厚意によりリコー社のテレビ会議システムを利用させていただき、簡単にリモートによる会議を実施できることがわかり、今後の取り組みの参考とすることができた。

幼稚園のリモートに関しては、県教委から機器を運んでくださり、設置までして事前のテストもしていただいたので、すべてうまくできた。また、中学校側では、Wi-Fi機器の不具合や設置の時間に手間取るなど当初は心配していた面があったが、何度も実施する間に短時間で設置もできるようになった。今後各教室にWi-Fiの設備ができれば簡単に各教室で使えるようになり、リモート会議を利用すれば各学校間の移動時間の短縮と経費の削減にもなるため、今後もできるだけ利用することで効率的な交流が可能であると考えられる。

〈今後の課題〉

リモートをする場合その内容を考えることが大切である。生徒が自立型人間へと成長できる手助けができるような取り組みは、どのようなことをすれば良いか。

また、リモートをしない場合はどんなことができるのか。

報告書を作るために事前・事後の調査をしなければならないが、必要なデータをどう集めるか。

(別紙様式1)

幼・小・中連携推進事業
「学びのかけ橋」プロジェクト実施計画書

教育委員会名	板野町教育委員会	担当者 職・氏名	主査・岸 博子
--------	----------	----------	---------

研究地域指定校

幼稚園	板野保育園 板野東幼稚園 板野西幼稚園 板野南幼稚園
小学校	板野東小学校 板野西小学校 板野南小学校
中学校	板野中学校

1 実践研究テーマ

自信に満ち、社会に貢献する「自立型人間」の育成

2 現状と課題

町内の学校における人権教育に重点を置き、人権教育の視点から生徒指導の充実を期することを目的に、板野町学校人権教育研究会を組織し活動している。特別な支援・配慮を必要とする生徒が全体の約二割を占めており、家庭や地域と連携を図りながら、きめ細かな指導をすることが必要とされている。

3 実践研究の主な内容や方法等

〈 幼小中について 〉

月	研究の内容及び方法	期待される効果
4	中学事前アンケート作成・実施 小中連絡会議の開催（阪根先生，県教委，板中他）	生徒の意識調査 小中の円滑な接続
5	中学校を会場とした小学校教員の授業参観及び交流 中学1年生の情報交換	教員の資質の向上 小中の円滑な接続
6	小学校を会場とした中学校教員の授業参観及び交流	小中の相互理解
9	板中祭（体育の部予行） 板中祭（文化の部）	児童・生徒の交流
10	中学校オープンスクール リモートによる読み聞かせ （各小学校1年生と中学1年生の交流） 町内生徒指導連絡協議会 中学1年事後アンケート実施	小中の円滑な接続 保護者への啓発 児童・生徒の交流 小中の相互理解 生徒の意識変容の調査
11	中学1年事後アンケート結果検討	今後の取組への課題確認
12	リモートによるクリスマス会 （各幼稚園と中学3年生の交流） 保育実習（保育園児と中学3年生）	園児・生徒の交流
1	リモートによる進路・生活相談 （各小学校6年生と中学2年生の交流） 町内生徒指導計画作成会議 中学事後アンケート実施	小中を見通した教育ビジョンの共有 児童・生徒の交流 小中の円滑な接続，相互理解 生徒の意識変容の調査
2	町内生徒指導計画作成会議 中学事後アンケート結果検討	小中の円滑な接続，相互理解 今後の取組への課題確認
3	小中連絡会議の開催	小中の円滑な接続

(様式1)

令和3年度「大学連携強化！学校力向上拠点校事業」 実施計画書

「大学連携強化！学校力向上」拠点校

学校名	校長名
板野町板野中学校	山田 匠

1 現状と課題

新学習指導要領の全面実施と GIGA スクール構想による ICT 環境の変化にともない、授業の在り方が大きく変わる。この2つの変化に対応し児童生徒の学力を向上させるために、教員の授業力の向上が急務である。

板野町では生徒指導を軸とした小中の連携は、以前から行っている。そこに、学力向上の視点をもって連携をさらに深める必要がある。これまでも小中間の授業公開は行っているが、公開した授業に関する研究会は行っていなかった。この機会に、授業の準備段階から小中連携しお互いの気付きや学びを共有する中で、教員の授業力と児童生徒の学力の向上を目指し、町内小中学校の学校力向上へとつなぎたい。

2 拠点校として取り組みたい実践研究テーマ

- ・学力向上実行プラン、ICT 活用に基づく授業改善による、組織的な学校力向上への取組の充実
- ・教員の授業力向上・児童生徒の学力向上の視点からの小中連携の強化

3 実践研究の内容等

月	内容等
4月	○学力向上実行プランの作成検討会（板野中学校のみ） ○板野東小学校統一大会公開授業（社会科）に向けた指導案検討会
6～7月	○第1回小中授業づくり交流会（会場：板野中学校 小学校参加） ○研究授業・授業研修会・事前検討会（会場：板野中学校、板野東小学校） ※板野中学校の指導案は授業者だけが作成するのではなく、他の教員も関わる。県教委も指導案の作成に関わる。
8月	○GIGA スクール構想に基づくタブレットでの授業づくり研修
8月下旬～9月上旬	○全国学力・学習状況調査、徳島県学力ステップアップテストの結果と課題を共有し、これからの取組を再検討する。
10～11月	○協力校の公開授業参観 ・板野東小学校統一大会公開授業に向けた取組（社会科）の共有 ・板野中学校での授業力向上に向けた取組の共有 ・板野西・板野南小での研究授業の共有
11～1月	○町内小中の校種別の枠を超えた経験年数別研修
1～2月	○第2回小中授業づくり交流会（会場：板野中学校） 【内容】①研究授業 ②協議・研修会 【内容】①研究授業 ②学力向上実行プランを基にした協議・研修会

4 成果普及の方法等

- ①全国学力・学習状況調査、徳島県学力ステップアップテストの結果と課題の共有や、授業づくり交流会・研究授業等で、各小・中の取組を公開することにより、成果の共有をする。

大学連携学校力向上拠点校事業計画

1 目的

- (1) GIGA スクール構想に対応した授業力の向上により、生徒の理解と自信を育てる。
 (2) 小学校と連携し、授業の構想段階から意見交換することで双方の教員が刺激を受け、切磋琢磨できる仕組みを創る。

2 タイムテーブル（変更の可能性あり）

月	内 容	月	内 容
4	16：zoom 県教委と方向性確認 28：東小学校統一大会説明会	10	研究授業・研究会 学校公開週間 タブレット授業参観
5	13：東小学校指導案検討会 18or19 学力向上実行プラン作成検討会 27：ステップアップ・学力テスト ★授業研究組織作り	11	小学校の授業見学 校内人権小研 小中経験年数別研修
6	小中授業づくり交流会・研究会 学力向上実行プラン小中共有	12	GIGA スクール構想研修
7	GIGA スクール構想研修	1	小中授業づくり交流会 小中経験年数別研修
8	～30：ステップアップ・学力テスト考察 GIGA スクール構想研修	2	GIGA スクール構想研修 年間振り返り・課題洗いだし
9	学力向上実行プラン見直し ★授業研究組織作り タブレット授業参観	3	学力向上実行プラン振り返り 拠点校連絡協議会 令和4年度の計画立案

3 方法

4 1学期の予定

月	内 容	具 体	担当
4	16：zoom 県教委と方向性確認 28：東小学校統一大会説明会	①学校の方針決定 ②東小説明会参加できる体制づくり	管 管
5	13：東小学校指導案検討会 18or19 学力向上実行プラン作成検討会 27：ステップアップ・学力テスト ★授業研究組織作り	①指導案検討会の内容を回覧・研修・周知 ②小中で統一した学力観・方向性を打ち出す ③ステップアップ・学力テストに向けた朝学習 ④全教職員が役割を担う組織作り	研 学向 学向 研
6	学力向上実行プラン小中共有 小中授業見学（期末テスト活用）	① zoom で共有し、結果を全職員に周知 ② 3 小学校に出向き授業見学	学向 教
7	小中授業づくり交流会・研究会 GIGA スクール構想研修	①研究授業形式で研究。小中参加 ②ディスプレイ・デジタル教科書の使い方 ③授業構想 ③模擬授業（全体・教科部会）	教・研・学向 研・学向 研・学向

ICT導入研修計画

1 目的

ICT環境の遅れは生徒の不利益に直結し、GIGAスクール構想の機会を逃すと、板野中学校の生徒はガラパゴス化してしまう。板野中学校生との能力を最大限発揮し、すでに訪れている情報化社会で生き抜く素地を養う。

2 今後の導入・研修の予定

月	導入予定	研修予定
4		ICT導入研修計画作成
5	デジタル教科書発注	ICT導入研修計画職員会議周知 総合教育センター出張依頼 タブレット活用ガイドラインを作成
6	ディスプレイ発注確認	タブレット活用先行事例調査・先進校リーダー研修
7	全学級にディスプレイ60型導入	ディスプレイ使用方法・デジタル教科書使用方法
8	全校生徒タブレット導入	タブレット利用使用方法・授業での活用場面研修 総合教育センター出張研修(?)
9	タブレット関連部品リストアップ	試行研究授業
10		大学連携学校力向上拠点校事業研究授業
11	備品要望	試行研究授業
12		
1		試行研究授業
2		
3	生徒用アカウント変更	アカウント変更研修
4	生徒用アカウント終了	試行研究授業

3 その他

- (1)情報はできるだけオープンにし、情報格差のないようにする。
- (2)必要な購入品について優先順位をつけ、リストアップしておく。
- (3)生徒が家庭で使う可能性があることを念頭に置く。
- (4)休み時間等の生徒のタブレット活用についてのルールを決めておく。
- (5)一気に進めなければ、活用が定着しない。苦しいがそのつもりで腹をくくる。

板野町内小中学校教員経験年数別研修(案)

1 目的

- (1)教員としての力量形成
- (2)同じ経験年数の教員と交流し、共通の課題について研修することで、効率的に研修ができる。
- (3)若手教員等、教員の特技を伸ばし、学校を超えてお互いに学び合える

2 大まかな方向性

初年度は年間2回の経験年数別研修を実施し、体制づくりに注力する。

3 スケジュール

	内 容	具 体	担当
4・5月	年間の予定作成	大まかな流れ、計画の具体について作成し、町内の管理職・研修主任に同意を得る。	板中研修主任
9月	計画の具体案・振り返りアンケート作成、町内各校に周知	第1回の具体案を作成。各研修場所、決めること、研修内容について事前に承認を得る。	研修主任会
11・25	第1回経験年数別研修		研修主任会
12月	第1回反省会	第1回の振り返りと課題解決。第2回の具体案作成。	研修主任会
1・27	第2回経験年数別研修		研修主任会
2月	第2回反省会・令和4年度計画	第2回、年間の振り返りと課題解決。令和4年度の日程、計画作成し、各校長に同意を得る。	研修主任会
3月	予備		

4 留意点

- (1)初めての企画であるため、丁寧な準備が必要である。また、個人で計画するのではなく、研修主任会として企画立案する。
- (2)事前準備が全てであり、当日の運営は各グループに一任する。
- (3)効果検証のために、振り返りアンケートを作成する。

令和2年度 学校評価アンケートまとめ

生徒の回答

保護者の回答

教師の回答

		設問項目			設問項目			設問項目									
		R2年度	R1年度	H30年度			R2年度	R1年度	H30年度			R2年度	R1年度	H30年度			
学校生活・生活指導	1	学校での生活は楽しい。	88.4%	89.8%	92.9%	学校生活・生活指導	1	子供は、楽しく学校生活を送っている	90.3%	90.3%	90.8%	学校生活・生活指導	1	生徒は楽しく学校生活をすごしている	100.0%	100.0%	95.8%
	2	学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。	95.4%	94.7%	90.6%		2	子供は、学校でいじめもなく、友だちと仲よくすごしている	91.4%	90.0%	90.8%		2	生徒は学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている	96.2%	96.2%	75.0%
	3	場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	93.7%	86.6%	91.2%		3	子供は、場に応じて、聞こえる挨拶をしている	86.9%	86.4%	83.7%		3	生徒は場に応じて、聞こえる挨拶をしている	80.8%	69.2%	54.2%
	4	遅刻をしないなど時間を守って生活している。	90.5%	85.2%	85.9%		4	子供は、遅刻をしないなど時間を守って生活している	85.8%	81.0%	83.3%		4	生徒は、遅刻をしないなど時間を守って生活している	92.3%	80.8%	66.7%
	5	自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	97.5%	95.4%	94.6%		5	子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている	97.5%	97.8%	94.2%		5	生徒は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている	100.0%	100.0%	100.0%
	6	先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。	83.9%	84.2%	64.0%		6	学校は、生徒同士のトラブルや悩みなど、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている	83.5%	82.4%	83.0%		6	生徒同士のトラブルや悩みなどを生徒が相談する時間を設定している	73.1%	84.6%	95.8%
	7	予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています。	82.6%	77.5%	82.8%		7	子供は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています	87.9%	81.7%			7	生徒は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています	92.3%	73.1%	70.8%
	8	提出物を忘れずに出している。	79.7%	74.3%			8	子供は、提出物を忘れずに出している	73.1%	71.3%			8	生徒は、忘れず提出物をだしている	76.9%	53.8%	
学力・学習指導	9	自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。	68.6%	68.3%	59.9%	学力・学習指導	9	子供は、自分の考えや意見を伝える力が身についている	73.4%	68.8%	66.7%	学力・学習指導	9	生徒は、自分の考えや意見を伝える力など、表現力が育っている	80.7%	53.8%	41.7%
	10	授業の内容を理解している。	78.0%	75.4%	77.4%		10	子供は、授業の内容を理解している	62.8%	58.8%	56.5%		10	生徒は、授業の内容をよく理解している	84.6%	73.1%	70.8%
	11	毎日、家庭学習をしている。	72.0%	70.4%	65.0%		11	子供は、家庭学習をする習慣が身についている	46.9%	46.2%	52.7%		11	生徒は、家庭学習をする習慣が身についている	65.4%	57.7%	45.8%
	12	朝読書以外にも読書をしている。	47.6%	47.9%	39.4%		12	子供は、家庭でも読書をしている	30.3%	29.0%	27.6%		12	生徒は、読書に親しむ習慣が育っている	46.2%	23.1%	45.8%
進路指導	13	将来の夢や希望の実現に向けて考えている。	68.9%	62.0%	65.3%	進路指導	13	子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている	52.1%	43.0%	43.9%	進路指導	13	生徒は、将来の夢や希望の実現に向けて、主体的に進路選択しようとしている	80.8%	57.7%	54.2%
	14	自分には良いところがある。	71.7%	72.9%	71.0%		14	保護者は子供の良いところを知っている	98.3%	97.5%			14	自分の良いところ気づかせようとしている	100.0%	100.0%	
道徳教育	15	社会のルールを守って生活している。	95.1%	91.2%	91.6%	道徳教育	15	子供は、社会のルールを守る態度が育っている	92.4%	78.9%	86.1%	道徳教育	15	生徒は、社会のルールを守る態度が育っている	92.3%	88.5%	79.2%
	16	自分が大切な存在であると思っている。	70.3%	68.0%			16	子供は、自分を大切な存在であると思っている	88.2%	87.1%			16	生徒は、自分を大切な存在であると思っている	84.6%	84.6%	
	17	「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。	76.2%	64.8%			17	子供は「とことん続ける目標」で、自信につながってきている	66.2%	57.3%			17	生徒は「とことん続ける目標」で、自信につながってきている	88.5%	80.8%	
	18	道徳の時間に積極的に取り組んでいる。	77.3%	75.7%	70.0%		18	子供が、道徳でどんなことを学んでいるか知っている	50.3%	49.1%			18	道徳の授業内容を通信等で知らせている	65.4%	100.0%	

令和2年度 学校評価アンケートまとめ

生徒の回答

保護者の回答

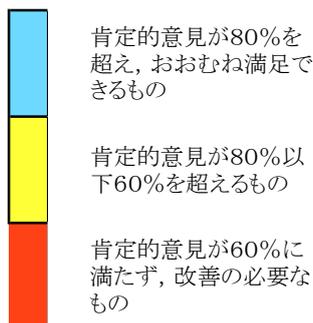
教師の回答

設問項目		R2年度	R1年度	H30年度
特別活動 総合学習部活	19 生徒会活動や部活動に自主的・積極的に取り組んでいる。	75.2%	75.4%	77.1%
	20 部活動ガイドラインを守り、活動ができている。	78.6%	81.3%	
安全教育 環境教育	21 事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	92.0%	89.4%	85.9%
	22 学校の施設・設備は安全である。	75.1%	65.5%	59.6%
	23 時間いっぱい清掃に取り組んでいる。	85.3%	83.1%	
人権教育	24 学校や先生は子ども同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。	80.1%	83.1%	
	25 いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。	92.0%	89.8%	84.5%
学校行事	26 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	88.1%	89.8%	86.5%
学校公開 情報公開 地域家庭 連携	27 学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している。	76.9%	72.5%	
	28 地域の行事に参加している。	34.6%	48.6%	
	29 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	82.8%	79.9%	
	30 学校からの便りを保護者にわたしている。	86.7%	79.6%	

設問項目		R2年度	R1年度	H30年度
特別活動 総合学習部活	19 子供は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる	75.5%	69.5%	75.9%
	20 部活動は、時間を守り、活動ができている	80.0%	86.0%	
安全教育 環境教育	21 子供は、事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている	85.4%	77.4%	
	22 学校の施設・設備は安全である	82.1%	73.8%	77.2%
	23 学校は、美しく整えられている	88.9%	84.9%	87.4%
人権教育	24 学校や先生は子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している	82.4%	79.6%	85.4%
	25 学校や先生は、いじめや差別のない学校づくりをしている	83.1%	81.0%	86.1%
学校行事	26 学校行事や講演会は、楽しく、充実している	90.4%	87.1%	
学校公開 情報公開 地域家庭 連携	27 保護者は、学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している	80.0%	71.3%	
	28 学校は、積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている	91.0%	90.0%	88.1%
	29 学校は、授業参観や学校行事などを積極的に公開している	89.7%	94.3%	46.9%
	30 学校の便りから、学校の取り組みや生徒の活動の様子がよくわかる	86.6%	86.0%	84.4%
	31 学校から発信されるホームページ、マチコメールは役に立っている	94.8%	86.0%	90.8%

設問項目		R2年度	R1年度	H30年度
特別活動 総合学習部活	19 生徒は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる	96.2%	84.6%	83.3%
	20 部活動は時間を守り、運営ができている	100.0%	100.0%	
安全教育 環境教育	21 生徒は地震、火災、不審者など、危機に対応する能力が育っている	84.6%	73.1%	66.7%
	22 学校の施設・設備は安全である	46.1%	46.2%	45.8%
	23 学校を美しく整えている	100.0%	92.3%	79.2%
人権教育	24 子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している	100.0%	100.0%	100.0%
	25 いじめや差別を素早く見抜き、情報共有し、初期対応と未然防止に努めている	100.0%	96.2%	91.7%
学校行事	26 学校行事や講演会は、教育効果を上げている	92.3%	100.0%	
学校公開 情報公開 地域家庭 連携	27 学校の教育方針や教育活動のねらいを伝えている	88.5%	92.3%	95.8%
	28 積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている	76.9%	92.3%	87.5%
	29 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している	88.4%	100.0%	100.0%
	30 学校の取り組みや様子などを保護者に伝えている	80.7%	100.0%	
	31 学校はホームページ、マチコメールを利用して、積極的に情報発信している	88.4%	100.0%	
特別支援	32 ひとりひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進している	84.6%	73.1%	62.5%
学校経営	33 教職員間で「報告・連絡・相談」が日常的に行われ、教職員間の共通理解が図られている	84.6%	92.3%	87.5%
	34 教職員間のコンプライアンス、情報セキュリティが徹底されている	84.6%	92.3%	79.2%
	35 研修等に積極的に参加するなど、資質向上に努めている	88.5%	100.0%	91.7%
資質向上	36 校務分掌・組織は適切に構成され、機能している	92.3%	84.6%	83.3%
	37 教育活動全般において、職員同士が協力して取り組んでいる	84.6%	92.3%	79.2%

※ アンケートの数字は、「そう思う」「ややそう思う」の肯定的意見を合計したものです。



今年度の反省と課題

①生徒の調査について

設問項目1～7, 15, 21, 23, 24, 25, 26, 29, 30の質問項目について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を大きく超えており、概ね満足しているといえる。また、全調査項目のうち、80%以上の項目が昨年度調査では13項目であったのが15項目に増加している。そして、数値が昨年度より上昇した項目が21項目あり、大幅に改善されてきていることがわかった。

ただ、「学校での生活は楽しい」88.4%、「学校や学級で、いじめもなく仲よくすごしている」95.4%の2項目については、限りなく100%に近づけたい項目である。

設問項目2の「学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。」は過去3年間の比較では、H30年度90.6%、R元年度94.7%、で今年度の調査ではさらに上昇し、95.4%となっている。また、設問項目26の「いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。」では、H30年度84.5%、R元年度89.8%、となっていたが、今年度調査では92.0%となり、改善され続けている。そして、設問項目6の「先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。」の調査は83.9%となっている。

生徒相互の人間関係が良好に進んでいることで、困りごとや悩みごとが減少していることがある。そして、巡視や面談・声かけ等を増やし、生徒の日々の変化を素早く察知し、家庭訪問や家庭連絡の回数を増やし、保護者との関係を密にする取り組みを進めたことによる結果と考えられる。

昨年度の調査と分析から今年度の課題は設問項目6, 9, 12, 17, 24, 25が重点目標であり、中でも設問項目17, 24は最重点目標とした。

最重点目標に挙げた設問項目17の「『とことん続ける目標』で、自信につながるようになった。」は、令和元年度調査の64.8%から今年度は76.2%へと飛躍的改善が見られる。学年別のデータでは、「よく当てはまる」の回答が1年生(30.9%)、2年生(34.1%)、3年生(38.0%)のように高学年ほど高い値となり、板野中学校2020年度重点行動目標の浸透状況が見えてきた。

同じく最重点目標の「学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。」は80.1%となり、昨年度の数値からは微減となっている。しかし、「よく当てはまる」の回答は49.7%と過半数に近い数値であり、他の設問項目と比べても「よく当てはまる」の回答率が高くなっている。

今年度から取り入れた生活記録『明日への扉』での毎日の目標設定と振り返りが徐々に浸透してきたとともに、『明日への扉』や『とことん続ける目標』を通じて、生徒と教員、保護者と教員の相互の関係が深まってきている。生徒間の人間関係が改善され、またトラブルが素早い対応で解決され、1年間での成長が感じられる。

設問項目9～12(学力・学習指導)については、すべての調査で数値が上昇しており、生徒の学習意欲にもつながっている。表現できる力がアップしてきており、書く力もついてきたと考えられる。しかし、数値は改善されたものの「朝読書以外にも読書をしている。」は47.6%となっており、さらなる改善・向上が求められている。

今後の課題は設問項目6, 9, 14, 17, 24, 25が重点目標であり、中でも設問項目17, 24は最重点目標とする。「とことん続ける目標」の徹底で自己肯定感を磨き、それによって学習意欲を増加させるよう取り組んで行く。

学校からの情報発信力をさらに向上し、いじめ対応を素早く、スピード感をもって対処し、学習の土台となる「人間力づくり」「人間関係づくり」を最優先に取り組む。

② 保護者の調査について

全30問の設問項目のうち、27問が昨年度の回答よりも「よくあてはまる」「ややあてはまる」が増加している。

設問項目1～7の学校生活全般については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を超えており、90%以上の回答や、「よくあてはまる」の回答だけで80%を超えるものもあり、大変満足していただいているといえる。また、この回答は生徒の回答とも類似している。昨年までのデータと比較しても、大きく上がったものはあるが、大きく下がったものはなく、ほとんどすべての設問項目で向上している。好評価の中でも特に登下校の生徒の評価がよく出ている。特に「子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている」の調査は、「よくあてはまる」だけで、87.2%の回答があり、「全くあてはまらない」の回答は0.7%となっている。

「子供は、自分の考えや意見を伝える力が身についている。」の調査では、H30年度66.7%、R元年度68.8%となっていたが、今年度調査では73.4%となり、保護者の方々の子供に対する評価が改善されてきている。しかしこの調査では、「よくあてはまる」21.7%に対して、「ややあてはまる」は51.7%と2倍以上ある。また、「子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている。」が「よくあてはまる」16.6%となっており、生徒の夢や、考え、意見を保護者に見てもらったり、聞いてもらったりする情報発信を強化する必要がある。また、「子供は『とことん続ける目標』で、自信につながっている。」の肯定的な意見がR元年度の57.3%から今年度は66.2%に伸びてきた。保護者に「とことん続ける目標」の取り組みが少しずつ浸透してきたと同時に、家庭教育と学校教育が一体となって取り組みたい活動でもあり、生徒が設定している目標を保護者に知ってもらうとともに、振り返りシートの保護者の記入について協力を依頼し、学校と家庭が歩調を合わせて生徒の自己肯定感の育成を行う。

人権教育の設問項目24, 25において、肯定的な意見は80%を超えた結果が出ている。講演会等では積極的に保護者の参加も進めてきた成果だと考える。

保護者への情報発信はいずれの設問項目においても好評価となっている。今年度、保護者が学校を訪問するPTA活動や学校行事、学校公開、講演会などは新型コロナウイルス感染症の感染防止もあり、その機会が増やせていない。しかし、学校からの保護者への情報が適切に伝わっていることが考えられる。保護者からの意見や情報が、教員に日常的に伝わる情報交換をさらに高めていきたい。

4月		5月		6月		7月		8月		9月							
1	木	第1回職員会 学年部会 教科部会	1	土		1	火	3年生代休	1	木	支援学校との交流学习1C	1	日	四国総体	1	水	
2	金	入学生ヘルメット販売 小中連絡会 PTA新旧役員会	2	日		2	水	3年生代休 沖縄修学旅行(2年)延期	2	金	東小大研(教科調査官来校)	2	月		2	木	
3	土		3	月	憲法記念日	3	木	沖縄修学旅行(2年)延期	3	土		3	火		3	金	
4	日		4	火	みどりの日	4	金	沖縄修学旅行(2年)延期 講演会	4	日		4	水		4	土	
5	月	第2回職員会 歓迎会	5	水	こどもの日	5	土		5	月	企画委員会	5	木		5	日	
6	火	職員会・研修(新学習指導要領による指導など) 生徒指導委員会	6	木	C日課④時間 13:30～面談④	6	日		6	火		6	金		6	月	教育実習開始 企画委員会
7	水	研修(評価)	7	金	C日課④時間 13:30～面談⑤ 検尿(第2回)	7	月	1年板野支援交流事前学習	7	水		7	土		7	火	
8	木	☆着任式・始業式 給食あり 学級写真 職員写真	8	土		8	火		8	木	四人研(愛媛) 交流学习予備日	8	日	山の日	8	水	
9	金	☆入学式 13:30 1年学級写真	9	日		9	水		9	金	四人研(愛媛)	9	月	振替休日	9	木	
10	土		10	月	職員会(生徒理解) 企画委員会	10	木	全校集会・郡総体壮行会	10	土	県総体開始(～26日まで)	10	火		10	金	
11	日		11	火		11	金	企画委員会	11	日		11	水		11	土	文化祭
12	月	進級テスト(2・3年) 交通安全教室(1年) 企画委員会	12	水		12	土		12	月	職員会 生徒指導委員会	12	木	お盆閉庁日	12	日	体育祭
13	火	新入生テスト(1年) 全校集会・対面式・部活動紹介	13	木	歯科検診(全学年)8:45～12:00 東小指導案検討会	13	日		13	火		13	金	お盆閉庁日	13	月	代休
14	水	☆郡教育会総会(松島小) ③④身体測定	14	金	ふれあい活動開講式?	14	月		14	水	球技大会(1年)	14	土	お盆閉庁日	14	火	代休
15	木	☆郡中研修総会(板野中)午後	15	土		15	火		15	木	球技大会(2年)	15	日	お盆閉庁日	15	水	
16	金	1年知能検査? 専門委員会? 検尿(第1回)	16	日		16	水	眼科検診(1年)予定 13:15～	16	金	球技大会(3年)	16	月		16	木	
17	土		17	月	代休(4/25)	17	木	支援学校との交流学习1A 教育実習終了	17	土		17	火	全中体育大会(～8/25)	17	金	鳴教大フィールドワーク終了
18	日		18	火		18	金	☆郡総体 生徒臨休	18	日		18	水		18	土	
19	月	3年個人写真撮影	19	水		19	土	☆郡総体	19	月	生徒総会	19	木	東小統一大会指導案検討会	19	日	
20	火	1年個人写真撮影	20	木		20	日	☆郡総体	20	火	学年集会 終業式 大掃除 反省会	20	金	東小統一大会指導案検討会	20	月	敬老の日
21	水		21	金	職員会 心電図(1年)9:00～11:00予定	21	月		21	水	夏季休業開始 三者面談①	21	土	PTA奉仕作業	21	火	職員会
22	木	職員会 23日県中校長会	22	土		22	火		22	木	海の日	22	日	PTA奉仕作業(予備日)	22	水	
23	金	生徒指導委員会(指導班・相談班)	23	日		23	水	避難訓練	23	金	スポーツの日	23	月		23	木	秋分の日
24	土		24	月	生徒指導委員会(指導班・相談班)	24	木	支援学校との交流学习1B 職員会	24	土		24	火		24	金	講演会
25	日	PTA参観日・総会・学年部会 午前 中で終了	25	火		25	金	生徒指導委員会(指導班・相談班)	25	日		25	水		25	土	
26	月	C日課④時間 13:30～面談①	26	水	2年生耳鼻科検診(午後)	26	土		26	月	三者面談②	26	木	職員会 生徒指導委員会(指導班・相談班)	26	日	
27	火	C日課④時間 13:30～面談②	27	木	全国学力・学習状況調査(国・数) ステップアップテスト	27	日	PTA球技大会	27	火	三者面談③	27	金	始業式	27	月	生徒指導委員会(指導班・相談班)
28	水	C日課⑤時間 板野東小研修15:00 板野支援交流年間計画打ち合わせ	28	金		28	月	期末テスト(1日目)	28	水	三者面談④ 企画委員会	28	土		28	火	
29	木	昭和の日	29	土	3年生登校日	29	火	期末テスト(2日目) 職員健康診断8:30～11:00	29	木	三者面談⑤ 郡陸(田宮)予定	29	日		29	水	
30	金	C日課④時間 14:40～面談③	30	日	☆3年生修学旅行	30	水	期末テスト(3日目) 全校集会(県総体壮行会)	30	金	郡陸予備日(田宮)	30	月	①学級役員任命式	30	木	
			31	月	☆3年生修学旅行 教育実習開始(英語 犬伏)				31	土	四国総体(～8/8まで)	31	火	☆少年の主張 板野郡大会			

10月		11月		12月		1月		2月		3月				
1	金	教育実習終了	1	月		1	水	期末テスト③ 全校集会 生徒会選挙立ち会い演説会・投票	1	土	元日	1	火	
2	土		2	火		2	木		2	日	年始休	2	水	
3	日	郡新人体育大会(サッカー)	3	水	文化の日	3	金		3	月	年始休	3	木	特色選抜?
4	月	企画委員会	4	木	郡人研	4	土	町人権問題講演会	4	火	徳島駅伝	4	金	企画委員会
5	火	心電図(第2案)9:00	5	金	文科人研・中人研	5	日		5	水	徳島駅伝	5	土	
6	水	☆3年生1回基礎学力テスト 県人研	6	土		6	月	代休	6	木	徳島駅伝	6	日	
7	木	講演会	7	日		7	火	企画委員会	7	金		7	月	企画委員会
8	金		8	月	企画委員会・校内教育支援委員会?	8	水	2年職場体験①?	8	土		8	火	一般選抜(学力検査)?
9	土	郡新人体育大会	9	火		9	木	2年職場体験②?	9	日		9	水	一般選抜(面接)?
10	日	郡新人体育大会	10	水		10	金		10	月	成人の日	10	木	一般選抜(追検査・追面接) 3年生修了式
11	月		11	木		11	土		11	火	始業式 企画委員会	11	金	建国記念の日 卒業式
12	火		12	金	遠足(1.2年)	12	日		12	水	☆3年第3回基礎学力テスト 課題テスト(1・2年)	12	土	
13	水	⑤⑥1年交流学习リハーサル	13	土		13	月	三者面談①	13	木		13	日	
14	木	⑤⑥板野支援交流(予備日なし) 実力テスト	14	日		14	火	三者面談②	14	金	全校集会(役員任命)?	14	月	職員会
15	金	遠足(3年)	15	月	職員会	15	水	三者面談③	15	土		15	火	職員会(進級判定)
16	土		16	火		16	木	三者面談④	16	日		16	水	☆1・2年基礎学力テスト
17	日		17	水	☆3年第2回基礎学力テスト	17	金	三者面談⑤	17	月	職員会	17	木	
18	月	学校公開週間? 職員会	18	木		18	土		18	火	講演会	18	金	生徒指導委員会(指導班・相談班)
19	火		19	金	講演会 小学校統一研	19	日		19	水		19	土	3年卒業テスト
20	水	合唱コンクール?	20	土		20	月	職員会	20	木		20	日	
21	木	3年遠足	21	日		21	火		21	金		21	月	3年卒業テスト 春分の日
22	金	中教研統一大会	22	月		22	水	全校集会(生徒会役員任命) 引継式・生徒総会 生徒指導委員会	22	土		22	火	1・2年学年末テスト①
23	土		23	火	勤労感謝の日	23	木	学年集会 終業式 大掃除 反省会	23	日		23	水	天皇誕生日 生徒総会 大掃除 粗大ゴミ処分
24	日		24	水		24	金	冬季休業開始	24	月		24	木	1・2年学年末テスト② 修了式・離任式 送別会
25	月	郡駅伝 東小統一研プレ授業(どこか)	25	木	町内経験年数別研修①	25	土		25	火		25	金	1・2年学年末テスト③ 春季休業開始
26	火		26	金	生徒指導委員会(指導班・相談班)	26	日		26	水		26	土	
27	水	群駅伝予備日	27	土		27	月		27	木	町内経験年数別研修②	27	日	
28	木		28	日		28	火		28	金	生徒指導委員会(指導班・相談班)	28	月	職員会(卒業判定)
29	金	生徒指導委員会(指導班・相談班)	29	月	期末テスト① コンプライアンス研修	29	水	年末休	29	土		29	火	
30	土	全人権	30	火	期末テスト② 町人権啓発文化展作品搬入	30	木	年末休	30	日		30	水	
31	日	全人研				31	金	年末休	31	月		31	木	

主な取り組みと内容(新型コロナウイルス対策)

令和3年度

月	内容・方法	予定期日	参加者	期待される効果
6	①保幼小中連絡会議	6月初旬	推進協議会委員	方向性の共通理解
	②中学校を会場とした小学校教員の授業参観	6月下旬	小中教員	
	③小学校を会場とした中学校教員の授業参観	6月下旬	小中教員	
7	中学1年生の情報交換	7月初旬	小中教員	生徒の状況確認と指導法の向上
9	①板中祭体育の部・文化の部	9月初旬	小中教員・児童生徒	①学校生活の展望を持たせる ②自立に向けた具体的取組・考え方について考える
	②キャリア講演会	9月下旬	小中教員	
10	オープンスクール	10月初旬	小中教員・児童	中学校でどのように成長するかイメージさせる
11	①保育実習	11月中旬	保中幼児生徒	①園児・生徒の交流による、生徒の自己成長の確認 ②自己肯定感の醸成
	②キャリア講演会	11月下旬	小中教員	
12	クリスマス会	12月中旬	幼中幼児生徒	幼児・生徒の交流による自己成長の確認
1	小中生徒指導計画会議	1月下旬	小中教員	小中共通の育てたい力の共有。接続を意識した教育課程の編成
2	小中生徒指導計画会議	2月下旬	小中教員	
3	小中連絡会議	3月中旬	小中教員	・小中の円滑な接続 ・中1ギャップの解消

学校運営協議員の皆さんにお願いしたいこと

学校の状況を見て評価するだけでなく、実際に学校運営に関わって頂きたいと考えています。
具体的には、学校の教育活動に関わることで、皆さんのお力をお借りしたいと考えています。
今年度はできれば、中学3年生に対する、高校入試面接練習のお手伝いを頂ければありがたいです。

例えば・・・

時期 : 12月に、

方法 : 何人かの方でペアになって、別室で生徒の模擬面接練習をして頂く。

具体的には :

(1)質問項目は学校で用意します。(もちろんアドリブで質問して頂くことも可能です)

※主に、

「この学校を志望した理由」「高校に入って頑張ろうと思うこと」「中学時代に頑張ったこと」

(2)生徒1人あたりの面接時間は7分程度

(3)面接で気になったところを、メモし、後で教員を通じて渡す。

(4)1人出入りも含め10分として、1時間で6人程度。

1回1～2時間(午前でも午後でも日程は調整します)

(5)1組2人+教員1名で3人チームで面接。

(6)3年生92名。ですが、全員に対して実施することは厳しいと思います。

どなたかサポートして頂ける方を紹介して頂けるとありがたいです。

(あと、6人～12人)

タイムスケジュール

～10月 面接して頂ける方の紹介

11月上旬 日程調整

11月下旬 面接日時、質問事項等台本配布

12月第2週～第3週 面接練習

※学校運営協議員以外の方で協力してもいいという方がいましたら、板野中学校(672-0079)
担当 三木教頭または松本教頭)までご連絡ください。改めて協力者に学校より電話させて頂き
説明させて頂きます。